# 便利な機能

ページ

# 親機の待機画面を変える

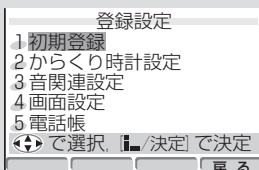
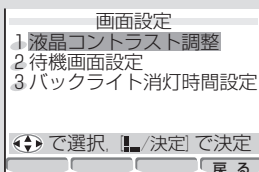
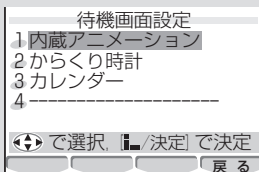
親機の待機画面は、はじめ「内蔵アニメーション」になっていますが、「からくり時計」、「カレンダー」、「ダウンロード画像（Ｌモードからダウンロードした画像）」に変えることができます。

## 親機の待機画面を変える

**1** 登録 を押す

登録設定
1 初期登録
2 からくり時計設定
3 音関連設定
4 画面設定
5 電話帳
で選択, [/決定] で決定
戻る

**2** ▲または▼で「画面設定」を選び、/決定 を押す

画面設定
1 液晶コントラスト調整
2 待機画面設定
3 バックライト消灯時間設定
で選択, [/決定] で決定
戻る

**3** ▲または▼で「待機画面設定」を選び、/決定 を押す

**4** ▲または▼で表示させたい画像を選ぶ

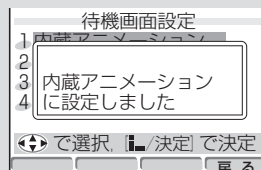
● 「ダウンロード画像」は、あらかじめLモードで待機画面用として登録しておかないと表示されません。（☞7-46～7-47ページ）

内蔵アニメーション

からくり時計

カレンダー

**5** /決定 を押す

待機画面設定
1 内蔵アニメーション
2
3 内蔵アニメーション
4 に設定しました
で選択, [/決定] で決定
戻る

**6** 停止 を押す

●待機画面に表示されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **登録したダウンロード画像を変更するときは**

ダウンロード画像を変更するときは、もう１度待機画面に登録（☞7-46～7-47ページ）すると書き換えられます。ただし、ダウンロード画像を消去することはできません。

■ **からくり時計機能を使うときは**
**（☞6-27～6-28ページ）**

■ **カレンダーに予定を登録するときは**
**（☞6-29～6-30ページ）**

### お知らせ

● からくり時計機能（☞6-27～6-28ページ）を「停止」以外に設定している場合、設定された時刻にはからくり時計機能が動作し、画面の表示が変わります。

# 通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

## 親機で通話を録音する

スピーカーホン通話中は受話器を取ってから操作してください。

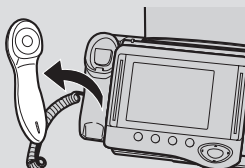
**1** 通話中に
機能選択 **を押し**
**またはで「メモ録音・通話録音」を選び、**
**を押す**

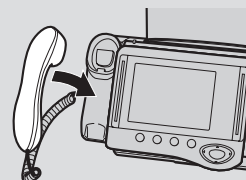
●内線通話中やドアホン通話中は、通話録音できません。

**2 録音をやめるときは 停止 を押す**

●録音が終わったら、日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（タイムスタンプ機能）

## 親機で伝言メモを録音する

**1 受話器を取る**

**2** 機能選択 **を押し**
**またはで「メモ録音・通話録音」を選び、**
**を押したあと、受話器で伝言を話す**

**3** 話し終わったら
停止 **を押してから、受話器を置く**

●録音が終わったら、日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（タイムスタンプ機能）

■ **録音内容を再生するときは**
**（☞5-6～5-7ページ）**

■ **録音内容を消去するときは****（☞5-8ページ）**

### お知らせ

- 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データなどがあると録音できる時間が少なくなります。
- スピーカーホンで通話録音や伝言メモを録音することはできません。

# 再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）

子機では再ダイヤルに記憶した電話番号を電話帳に登録することができます。

## 子機で再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

**1 [◁] を押す**

0312345678

●最後にかけた相手の方を表示します。

**2 [▲]または[▼]で登録する電話番号を選んだあと、[機能] を押す**

ナマエ?
カナ

**3 名前を入れる（最大12文字）**
（☞1-43〜1-46ページ）

イケダ　サトシ
カナ

●名前の入力を省略するときは手順 4 へ進みます。

**4 [機能] を押す**

ノコリ　95

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

### お知らせ

● 親機では、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

# モーニングコールを使う（子機）

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。（約５分間隔で１分間鳴り７回くり返す）

## 子機でモーニングコールを設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

**1** （機能）**を押す**

ヨウケンサイセイ

**2** （▲）**または**（▼）**で「アラームセッテイ」を選んだあと、**（機能）**を押す**

ON ▶OFF

**3** （◀）**または**（▶）**で「ON」を選んだあと、**（機能）**を押す**

**4** **アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で４ケタ入力します）**

●すでに設定している時刻を変更するときは、（◀）または（▶）で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

**5** （機能）**を押す**

●⏰マークが表示されます。

**■ 途中でやめるときは**

（切）を押します。

**■ モーニングコールの音を途中で止めるときは**

モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約５分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

**■モーニングコールを解除するときは**

① （機能）を押す

② （▲）または（▼）で「アラームセッテイ」を選んだあと、（機能）を押す

③ （◀）または（▶）で「OFF」を選んだあと、（機能）を押す

### お知らせ

● 子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから（☞1-36ページ）、モーニングコールを設定してください。

● アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。

# 自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

子機では、電話がかかってきたときの呼出音メロディーを自分で作成することができます。（着メロ作曲機能）
作成したメロディーは、子機の呼出音としてお使いいただけます。

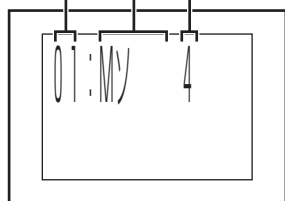
**■入力できる音の高さ**
次の高さの音が入力できます。（３オクターブの範囲です。半音も使えます。）

低音（1オクターブ下）（入力画面では、「L」が表示されます。）
中音（標準）（入力画面では、「M」が表示されます。）
高音（1オクターブ上）（入力画面では、「H」が表示されます。）

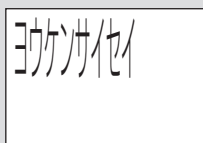
**■入力できる音符・休符**
次の音符や休符が入力できます。

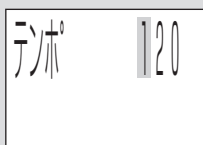
| ディスプレイ表示 | 音符 | 休符 | 長さ | ディスプレイ表示 | 音符 | 休符 | 長さ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | 全音符（休符） | 4. | | | 付点4分音符（休符） |
| 16 | | | 16分音符（休符） | 2 | | | 2分音符（休符） |
| 16. | | | 付点16分音符（休符） | 2. | | | 付点2分音符（休符） |
| 8 | | | 8分音符（休符） | 16_3 | | — | 16分3連符 |
| 8. | | | 付点8分音符（休符） | 8_3 | | — | 8分3連符 |
| 4 | | | 4分音符（休符） | 4_3 | | — | 4分3連符 |

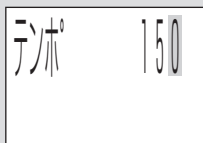
**■入力画面のしくみ**

**音の高さ**
●中音は「M」、高音は「H」、低音は「L」が表示されます。
●半音高い音は、「#」が表示されます。
（半音低い「♭」の表示はありません。）
●休符は、「・・・・」が表示されます。
●スラーは、「ーーー>」が表示されます。

呼出音（オリジナルメロディー）を作る操作です。

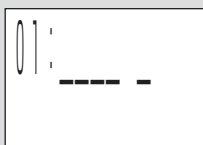
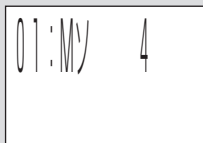
## オリジナル（自作）メロディーを作る

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

**1** 機能 **を押す**

**2** ▲または▼で「メロディトウロク」を選んだあと、機能を押す

**3 ダイヤルボタンでテンポを入力する（40～190）**

テンポ 150

- はじめは120になっています。（数値が大きい方がテンポが速くなります。）
- ▲または▼で、テンポを調整することもできます。このときは4テンポ間隔となります。（最小40、最大190まで）
- ◀または▶でカーソルを動かせます。

**4** 機能 **を押す**

- メロディーの入力画面になります。

**5 ダイヤルボタンでメロディーを入力する**

- 6-8ページのメロディーの入力方法を参照して、メロディーを入力してください。

**6** 次の音を入力するときは ▼ **を押す**

- 音符や休符の種類を指定したあとや1つ前の音とちがうボタンで音の高さや休符を指定するときは、この操作は必要ありません。

**7 手順5～6をくり返して、すべてのメロディーを入力する（最大60音）**

- メロディーを途中で確認するときは、カナ/キャッチボタンを押すと、入力したところまでのメロディーが確認できます。
- メロディーを修正するときは、▲または▼で、修正したい音を表示させたあと、クリアボタンを押して入れ直します。

**8** すべてのメロディーを入力したら 機能 **を押す**

- 作り終わったオリジナルメロディーをすぐに変更するときは、このあと▲または▼で、「ヘンコウ」を選んだあと、機能ボタンを押すと、手順3に戻ります。

**9** ▲または▼で「トウロク」を選んだあと、機能を押す

- このあと、待機画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

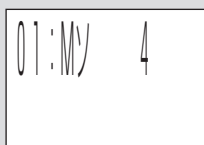
 を押します。

# 自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

メロディーを入力するには、ダイヤルボタンを使って、音の高さ（ド〜シ）や休符、音の長さを入力します。各ダイヤルボタンには音の高さ（ド〜シ）や休符、音の長さを入力できるように割り当てられています。ボタンを押すごとに、入力が切り替わります。（入力割り当て表 ☞6-9ページ）

## 音の高さや休符を指定する

**メロディーの入力画面にしたあと、ダイヤルボタンで入力します。**

●ボタンを1回押すと、中音で4分音符が指定されます。
同じボタンをくり返し押すと、同じ音で半音や1オクターブ上または下の音が入力できます。
（例）中音「ソ」4分音符

9ラWXYZ／トーン＊／＃ は、音符や休符を選んでいるときのみ有効となります。

■ **作ったメロディーを利用するときは**

「子機の呼出音の種類を変える」（☞1-34ページ）の手順3でオリジナルメロディーを選びます。

■ **オリジナルメロディーを消去するときは**

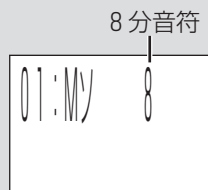
① 機能 を押す
② ▲ または ▼ で「メロディショウキョ」を選ぶ
③ 機能 を押す
④ もう一度、機能 を押す

### お知らせ

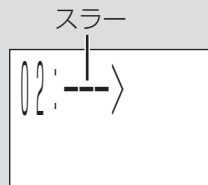
● 登録中に電話がかかってくると、入力中のメロディーは、登録されません。はじめからやり直してください。
● 操作の途中で1分以上何もしないでおくと、待機画面に戻ります。このときは、はじめからやり直してください。

## 音符や休符の種類を指定する

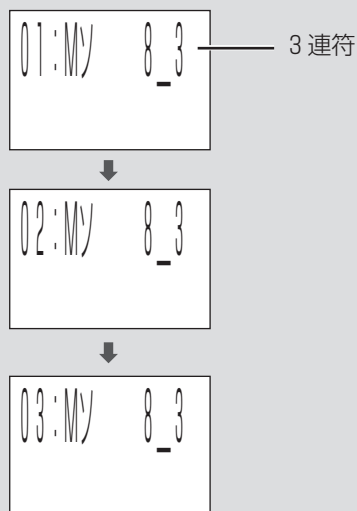
**トーン＊ または ＃ をくり返し押し、音符や休符の種類を指定します。**

●休符の場合も、音符の指定と同様になります。
（例）中音「ソ」8分音符

### 音をのばすとき（スラーの指定）

**音符を選んだあと、8ヤTUV を押します。**

●「ーーー>」が表示されます。
次の音となめらかにつながるようになります。

### 符点付きの音符や3連符にするとき

**音符を選んだあと、9ラWXYZ を押し付点や3連符を指定します。**

（例）中音「ソ」の8分の3連符（♫）の場合3連符を指定した「ソ」を3つ入力します。

■入力割り当て表

| 押すボタン | 音階 | 表示（M：中音／H：高音／L低音／♯：半音） |
|---|---|---|
| 1 | ド | Mド → Mド# → Hド → Hド# → Lド → Lド# |
| 2 | レ | Mレ → Mレ# → Hレ → Hレ# → Lレ → Lレ# |
| 3 | ミ | Mミ → Hミ → Lミ |
| 4 | ファ | Mファ→Mファ#→Hファ→Hファ#→Lファ→Lファ# |
| 5 | ソ | Mソ → Mソ# → Hソ → Hソ# → Lソ → Lソ# |
| 6 | ラ | Mラ → Mラ# → Hラ → Hラ# → Lラ → Lラ# |
| 7 | シ | Mシ → Hシ → Lシ |
| 8 | | ーーー>（スラー） → （スラーなし） |
| 9 | | ※1 .（付点） → ※2 __3（3連符） → （なし） |
| 0 | 休符 | ・・・・ |
| ＊ | | 8（8分音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 2（2分音符／休符） → 4（4分音符／休符） |
| # | | 2（2分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 8（8分音符／休符） → 4（4分音符／休符） |

※1 付点は、2分音符（2分休符）、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。

※2 3連符は、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。

**メロディーを入力中に次のボタンを使って、メロディーの確認や変更ができます。**

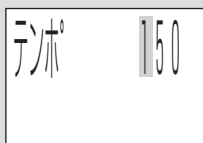
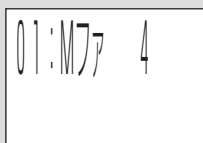
| 押すボタン | 機　　能 |
|---|---|
| 内線/クリア 保留 | <短く押す>選択中の1音を削除<br><2秒以上押す>全音削除 |
| カナ/キャッチ | メロディー確認 |
| ▲ または ▼ | 音符スクロール |

**お知らせ**

- 「ミ」または「シ」は、半音上げることはできません。
- 「♯：シャープ」は、音を半音上げます。「♭：フラット」は、半音下げます。「♭」にするときは、1つ下の音階を入力したあと、半音上げてください。（例：「Mシ♭」は「Mラ♯」と入力します）

## オリジナルメロディーを変更する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

**1 「オリジナル（自作）メロディーを作る」（☞6-7ページ）の手順１～２を行う**

**2 ダイヤルボタンでテンポを変更したあと、機能を押す**

- ▲または▼で、テンポを調整することもできます。（最小40から最大190まで、４テンポ間隔）
- ◀または▶でカーソルを動かせます。
- メロディー変更画面になります。

**3 ▲または▼で変更したい音を選ぶ**

**4 音を変更する**

**音符や休符を変更するとき**

音長を変更する ▶ ＊（トーン） または ＃

付点や３連符を変更する ▶ 9

- 音の高さを変えたり、音符を休符、休符を音符に変更することはできません。いったん消去したあと、正しい音符や休符を追加してください。

**音符または休符を追加するとき**

音を追加する ▶ 1 ～ 7

休符を追加する ▶ 0

- 選んだ音の前に、新しい音が追加されます。
- すでに60音入力されているときは、追加できません。

**音符または休符を消去するとき**

内線/クリア 保留 を押す（短く押す）

- 選んだ音の１音が消去されます。スラー付きの音を消去すると、スラーも消去されます。
- クリアボタンを２秒以上押し続けると、すべての音が消去されます。

**5** 変更が終わったら

**機能 を押す**

**6 ▲または▼で「トウロク」を選んだあと、機能を押す**

- このあと、待機画面に戻ります。

**■ 途中でやめるときは**

切 を押します。

# 自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

**次の曲を登録する場合のボタン操作を示します。（例：メヌエット　バッハ作曲より）**

「オリジナル（自作）メロディーを作る」（☞6-7ページ）の手順4～7の操作で下記のようにダイヤルボタンを押すと上の曲が入力できます。（×数字は、ボタンを押す回数です。⇩は同じ音が続くので▼を押してから次の音符を入力することを表しています。）

# 子機をもっと便利に使う

**子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録・設定をすることができます。**

## 子機で設定します

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの（▲）または（▼）で選びます。

（例）

### クイック通話（着信のときのみ）

工場出荷時は［ ］に設定されています。

**はたらき**

子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。
- ・ON　着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。
- ・OFF　子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。

**手順**

通話ボタンを消灯した状態で ➡ 機能 ➡ 「**クイックツウワ**」を選ぶ ➡ 機能 ➡➡

➡➡ マルチファンクションキーの（◀）または（▶）で 「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ ➡ 機能

### キータッチ音出力

**はたらき**

子機のボタンを押したときに、「ピッ」音（キータッチトーン）を鳴らします。
- ・ON　子機のボタンを押したときに「ピッ」音（キータッチトーン）が鳴ります。
- ・OFF　「ピッ」音（キータッチトーン）は鳴りません。

**手順**

通話ボタンを消灯した状態で ➡   「**キータッチトーン**」を選ぶ    

➡➡ マルチファンクションキーの（◀）または（▶）で 「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ 

### 待ち受け時間

**はたらき**

充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。
- ・**ヒョウジュン**　待ち受け時間は約200時間になります。
- ・**チョウジカン**　待ち受け時間は約240時間になります。
（「チョウジカン」にすると「ヒョウジュン」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。）

待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり呼出音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。

**手順**

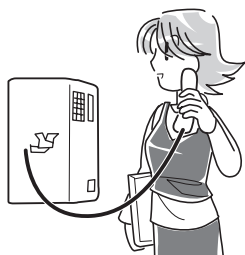
通話ボタンを消灯した状態で   「**マチウケジカン**」を選ぶ   

➡➡ マルチファンクションキーの（▲）または（▼）で 「**ヒョウジュン**」「**チョウジカン**」のどちらかを選ぶ  

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

# 外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

## 暗証番号を登録する

受話器を置いたまま操作します。

**1**  **を押す**

登録設定
1 初期登録
2 からくり時計設定
3 音関連設定
4 画面設定
5 電話帳
で選択, [/決定] で決定
戻る

**2 ▲または▼で「詳細設定」を選び、/決定を押す**

詳細設定
1 FAX/コピー
2 ナンバー・ディスプレイ
3 キータッチ音
4 留守録暗証番号
5 電話帳以外初期化
で選択, [/決定] で決定
戻る

**3 ▲または▼で「留守録暗証番号」を選び、/決定を押す**

留守録暗証番号
1 登録
2 消去
で選択, [/決定] で決定
戻る

**4 「登録」を選び、/決定を押す**

**5 暗証番号を入れる（4ケタ）**

●番号を押しまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

**6 /決定を押す**

**7 停止を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る または 取消 を押します。

■ **登録した暗証番号を消すときは**

① 手順4で「消去」を選ぶ
② /決定を2回押す
③ 停止を押す

■ **暗証番号を変えるときは**

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。録音内容は消えません。

## 外出先から一般録音をリモート操作する

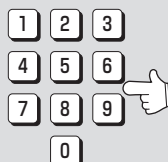
**1 自宅に電話をかける**

●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

**2 応答メッセージが聞こえている間に [#] を押す**

● [#] を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度 [#] を押してください。

**3 暗証番号（4ケタ）を押す**

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

**4 [#] を押す**

**5** 音声メッセージを聞いたあと **リモート操作番号を押す**

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

（例）録音内容を聞くときは、
[1] [#] と押します。

**6** リモート操作が終わったら **電話を切る**

■ リモート操作表

| 操作内容 | リモート操作番号 |
|---|---|
| 録音内容を聞くには | 1 # |
| 早聞きや遅聞きをするには | 再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る） |
| 今聞いている録音内容を聞き直すには | 再生中に 3 # |
| 今聞いている録音内容の１件前を聞くには | 再生中に 3 # 3 # |
| 次の録音内容を聞くには | 再生中に 4 # |
| 止めるには | 再生中に 5 # |
| 再生済みの録音内容を消すには | 停止中に 0 1 # |
| 録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません） | 停止中に 0 2 # |
| 留守を設定／解除するには | 停止中に 6 # |

■ 暗証番号を押すときは

● 10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」音が聞こえます。手順３からやり直してください。
● 番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。（２回まちがえると電話は切れます。）

■ 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

留守設定（４件目の前）

| 1件目 | 2件目 | 3件目 | 4件目 | 5件目 | 6件目 |
|---|---|---|---|---|---|
| 再生スミ | 未再生 | 未再生 | 再生スミ | 未再生 | 未再生 |

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

●留守設定していないとき

| 1件目 | 2件目 | 3件目 | 4件目 | 5件目 | 6件目 |
|---|---|---|---|---|---|
| 再生スミ | 未再生 | 未再生 | 再生スミ | 未再生 | 未再生 |

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、呼出音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します。（留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。☞5-4ページ）

■ トールセーバー機能の使いかた

呼出音が２回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。３回目の呼出音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

## お知らせ

● 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。
（☞10-31〜10-32ページ）
● 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
● 操作は１分以内に行ってください。（１分以上あけると電話が切れます。）
● 親機が在宅モードで「在宅時コール回数」が「無制限呼出」のときはリモート操作できません。

# 子機を増設する（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

- 子機は、付属の子機以外に 3 台まで、UX-W71KWは 2 台まで増設することができます。

**UX-W71CLは子機を増設しても子機間通話はできません**

- 増設できる子機はCJ-KS4、CJ-KS7、CJ-KS5、CJ-KS3、CJ-KS2、CJ-KS1、CJ-KV75、UX-KF3CL、UX-KF1CLです。また、BS／CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
- 機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。
- 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。（増設登録手順タイプＡと記載されています。）
- 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-W71CL/KWに増設した場合の機能比較

| | 機種名 / 機能名 | 付属の子機 | CJ-KS4 | CJ-KS7 | CJ-KS5 | CJ-KS3 | CJ-KS2 | CJ-KS1 | CJ-KV75 | UX-KF3CL | UX-KF1CL | この取扱説明書の参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電話機能 | 電話帳機能 | ○（100人） | ○（100人） | ○（100人） | ○（100人） | ○（100人） | ×※1 | ×※1 | ○（50人） | ○（100人） | ○（100人） | 2-19 |
| | 再ダイヤル | ○（3件） | ○（3件） | ○（10件） | ○（10件） | ○（3件） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2-27 |
| | ダイヤルボタン点灯 | × | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | —— |
| | 優先呼出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | 2-10 |
| | モーニングコール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | 6-5 |
| | 子機間ひと声通知（UX-W71CLのみ）※2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6-17 |
| | 子機間通話（UX-W71KWのみ） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○※3 | ○※3 | 2-30 |
| | 受話音量切換 | 特大・標準 | 特大・標準 | 特大・標準 | 特大・標準 | 特大・標準 | 大・標準 | 大・標準 | 大・標準 | 大・標準 | 大・標準 | 1-32 |
| | スピーカーホン通話 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | 2-7、2-9 |
| ナンバーディスプレイ関連 | 番号・名前表示 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | 8-2 |
| | 着信記録 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | 8-11 |
| | 着信鳴り分け | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | 8-20 |

※１　短縮ダイヤルとして、10件まで記憶させることができます。
※２　UX-W71CLに子機を増設したとき
※3　表示内容（内線番号）が異なったものとなります。

# 子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

UX-W71CLに子機を増設してお使いのときは、子機から子機へメッセージを伝えることができます。
（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

## 子機から子機へメッセージを伝える

**1** 子 機

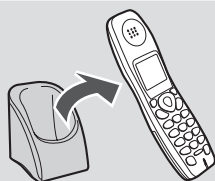
**子機を充電器から取って 内線/クリア 保留 を押す**

**2** 子 機

**呼び出したい子機の内線番号を押す**

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機が応答するまで「プププププ・・・・」と鳴ります。

**3** 呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、
**充電器から取る**

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」しているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

**4** 子 機

**呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）**

- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

**5** 呼び出された子機

**メッセージが聞こえる**

フジイさんから
電話があったから
連絡してみてっ！

**6** 子 機

メッセージが終わったら
**切 を押す**

- この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

# 子機から子機へ転送する（ひと声転送）

UX-W71CLに子機を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話をひと声だけメッセージを伝えて他の子機へ転送することができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）

## 子機から他の子機へ転送する(ひと声転送)

**1** 子機

子機で外線通話中に

**を押す**

**2** 子機

**呼び出したい子機の内線番号を押す**

●外線通話中の相手の方には保留メロディが流れます。

●呼び出した子機が応答するまで「ププププ・・・・」と鳴ります。

●通話ボタンが点滅します。

**3** 呼び出された子機

呼出音が鳴ったら、
**充電器から取る**

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」しているときは通話ボタンを押します。

●通話ボタンが点灯します。

**4** 子機

**呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）**

●呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

**5** 呼び出された子機

**メッセージが聞こえる**

**6** 子機

メッセージを話し終わったら
**子機を充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

●この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

**7** 呼び出された子機

**（通話）を押す**
**または（内線/クリア 保留）を押す**

●外の相手の方と通話できます。

■ **呼び出している子機が出ないときは**

（内線/クリア 保留）を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと（内線/クリア 保留）または（通話）を押すと外の相手の方との通話に戻ります。

# ドアホンを接続する

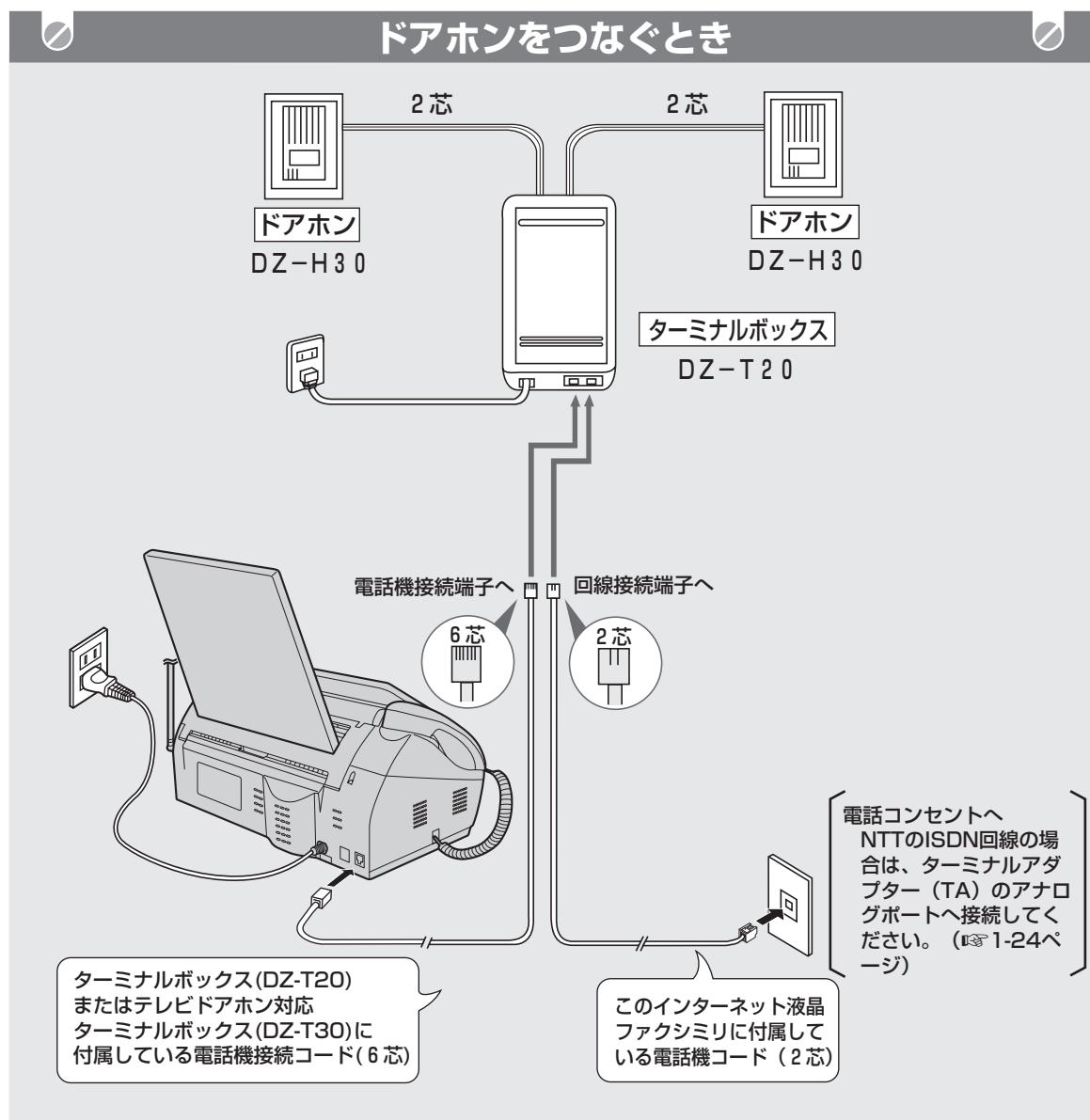
別売りのターミナルボックス（専用）やドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

## ドアホンをつなぐとき

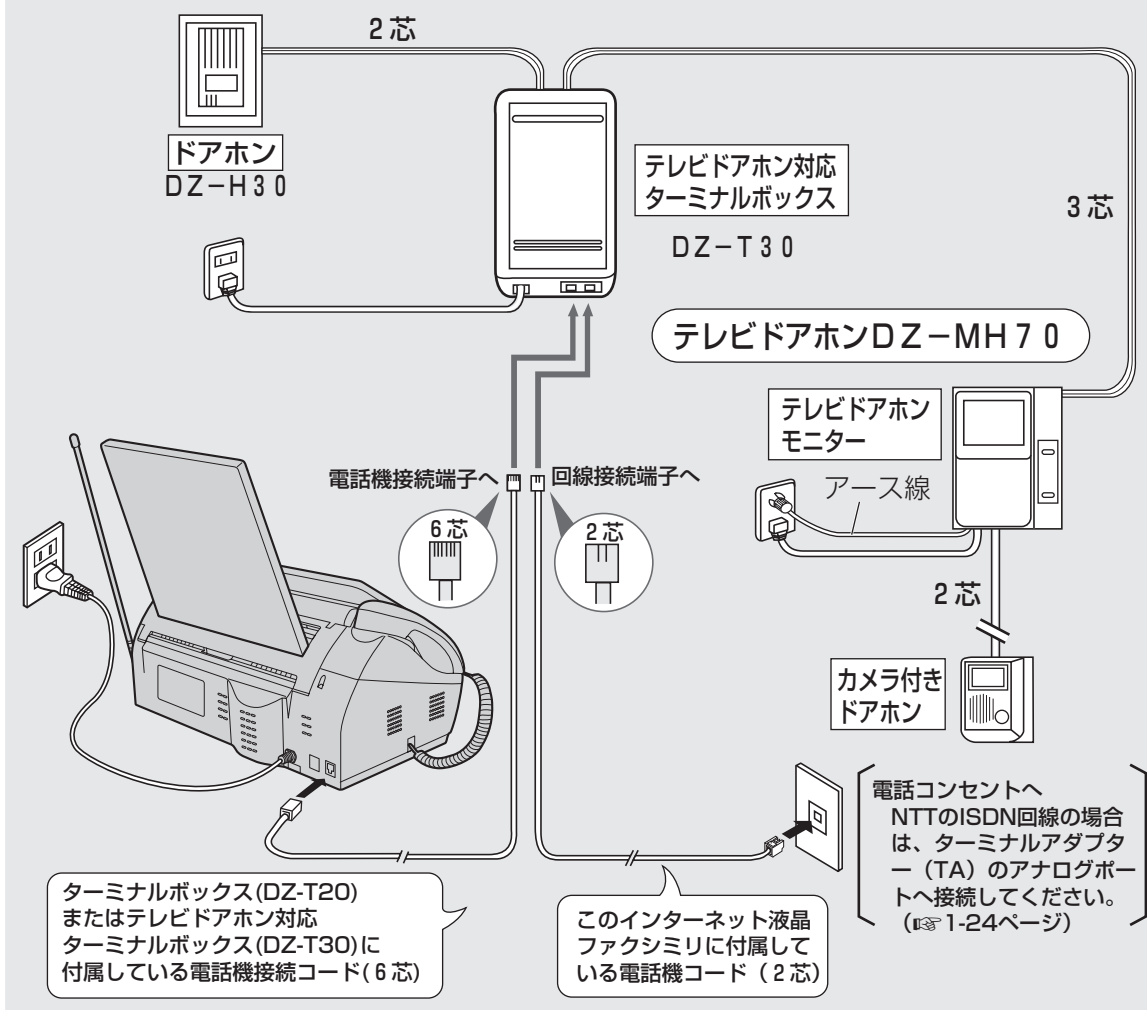
2芯
2芯
ドアホン
DZ−H30
ドアホン
DZ−H30
ターミナルボックス
DZ−T20
電話機接続端子へ
回線接続端子へ
6芯
2芯

電話コンセントへ
NTTのISDN回線の場合は、ターミナルアダプター（TA）のアナログポートへ接続してください。（☞1-24ページ）

ターミナルボックス(DZ-T20)またはテレビドアホン対応ターミナルボックス(DZ-T30)に付属している電話機接続コード(6芯)

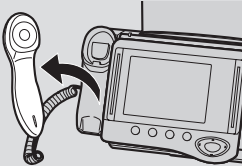
このインターネット液晶ファクシミリに付属している電話機コード（2芯）

### お知らせ

- テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
- テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。
- 現在お使いのドアホンが次の機種のときは、専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）
- 増設電話機が接続されていても増設電話機では、お話しすることはできません。（呼出音も鳴りません。）

## カメラ付ドアホンをつなぐとき



| メーカー名（50音順） | 適合するドアホン（室外機の機種名） 2002年9月現在 |
|---|---|
| アイホン | IF-DA IE-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IF-DAW IE-NXS IE-NXBA IE-NXM IE-NXY IE-NXC |
| 岩通 | ドアホンN |
| NTT | E-104DH E-ドアホンS E-ドアホンD E-ドアホンPL E-VXドアホン |
| パイオニア | TF-DR2 |
| 富士通 | FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D |
| 松下通信工業 | VF-521 VF-522 VF-523U VF-523D VL-568 VL-568G VL-568U VL-568K VL-568KA VL-568D VL-568R VL-568S VL-568KAP VL-568GL VL-568UL VL-569 VL-580D VL-582A VL-584D VL-585D VL-586P VL-587P VL-592 VL-593 VL-594A |
| 松下電工 | EJ-502 EJ-501W EJ-102 EJ-503F EJ-503A EJ-106A EJ-106S EJ-1021B |

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

# ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

## 親機で話すときは

**1** 呼出音が「ピンポン」と鳴ったらディスプレイに「ドアホン着信１」または、「ドアホン着信２」と表示している間（30秒以内）に

**受話器を取って通話する**

●親機のスピーカーホンボタンを押してもドアホン通話することはできません。

**2** 通話が終わったら

**受話器を戻す**

## 子機で話すときは

**1** 呼出音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に

**を押す**

●通話ボタンが点灯します。

**2** 通話が終わったら

**を押す**

■ **ドアホンの呼出音について**

ドアホン１とドアホン２からの呼出音は鳴り方が違います。

| | | |
|---|---|---|
| 親機 | ドアホン１ | ピン　ポン |
| | ドアホン２ | ピン ポン ピン ポン |
| 子機 | ドアホン１ | ピロ ピロ ピロ ピロ　ピロ ピロ ピロ ピロ |
| | ドアホン２ | ピロ ピロ　ピロ ピロ　ピロ ピロ |

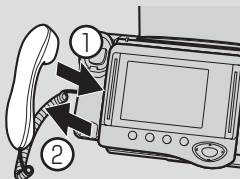
### お知らせ

- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の呼出音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。また、親機の呼出音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ドアホンの呼出音が「ピンポン」と鳴ったあと約30秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの受話音量はターミナルボックス側で調整することができます。詳しくはターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。

## 親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

**1** 電話の呼出音が聞こえたら

**一度受話器を戻してから、受話器を取る**

●受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。
●受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

## 親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

内線/保留 ◯ **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

**2** 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/保留 ◯ **を押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

## 親機でドアホン通話中にもう1台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう1台のドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの呼出音が「ピンポン」と1回聞こえたときは

(1あ@./-_) **を押す**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて2回聞こえたときは

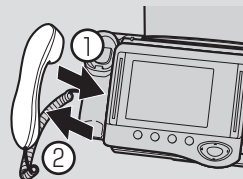
(2かABC) **を押す**

● **(1あ) または (2か)（またはキャッチボタン）を押すごとに、2台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

## 親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

**一度受話器を戻してから、受話器を取る**

●受話器を戻すと、内線通話が切れます。
●受話器を取ると、ドアホン通話になります。

## 子機でドアホン 通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

**1** 電話の呼出音が聞こえたら

 **を押して、**

 **を押す**

●切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。

## 子機で通話中に ドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

内線/クリア 保留 **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

**2** 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/クリア 保留 **を 2 回押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

## 子機でドアホン通話中に もう1台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう 1 台のドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの呼出音が「ピンポン」と1回聞こえたときは

1ア **を押す**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて 2 回聞こえたときは

2カABC **を押す**

● **1ア または 2カABC （またはキャッチボタン）を押すごとに、2 台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

## 子機で内線通話中に ドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

**1** ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

切 **を押して、子機にドアホンの呼出音が聞こえたら**

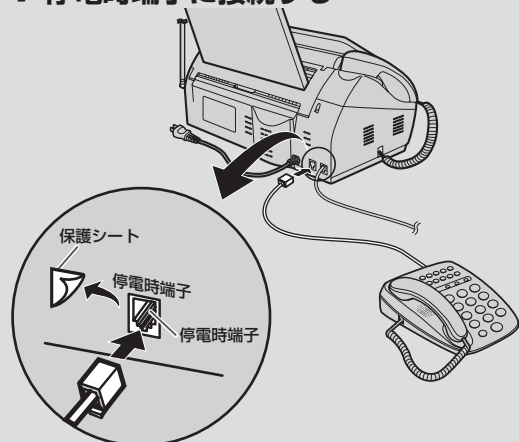
通話 **を押す**

●切ボタンを押すと、内線通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、ドアホン通話になります。

# 電話機を増設する

お手持ちの電話機を停電時端子に接続することができます。
停電時端子に接続される電話機は停電のときに使えるように、電源を使わない電話機を接続することをおすすめします。

## 増設電話を接続する

**1 停電時端子に接続する**

●保護シートをはがし、電話機の接続コードを、親機の停電時端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

## 増設電話機で電話をかける

**1 受話器を取る**

**2** 「ツー」という音が聞こえたら
**ダイヤルする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

## 増設電話機で電話を受ける

**1** 呼出音が鳴ったら
**受話器を取ってお話しする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

### お知らせ

● 親機と増設電話機との間で、内線通話はできません。
● 停電時端子には、電話機を１台しか接続できません。また、コードレス電話機は接続できません。
● 増設した電話機で受けたあとファクスに切り替えることはできません。
● 電話機の種類（留守番電話やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなるものがあります。
● ナンバー・ディスプレイ対応の増設電話機を接続するときは、増設電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。

# プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線をお使いの場合でもトーンボタンを押すと、プッシュ回線と同じトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出すことができますので、交通機関の予約や銀行の残高照合などのプッシュホンサービスを利用できます。

## 親機でプッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）

**1 受話器を取る**

- 受話器を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

**2 各種サービスにダイヤルする**

**3 （トーン）を押す**

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

## 子機でプッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）

**1 （通話）を押す**

- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

**2 各種サービスにダイヤルする**

**3 （トーン）を押す**

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約されている方でも、（トーン）（親機の場合）または（トーン）（子機の場合）を押すと、このトーン信号を出すことができます。

**お知らせ**

- サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。

# キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつです。電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができます。
キャッチホンサービスを利用するには、NTTとの契約が必要です。

##  親機でキャッチホンを使う 

**1** 通話中に呼出音が聞こえたら

キャッチ/消去 L 回線断 **を押す**

通話時間： 1分30秒
キャッチ

画 質 | 機能選択 | | 登 録

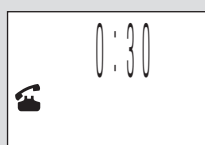
●キャッチホン・ディスプレイ（☞8-7～8-9ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

**2** もとの通話に戻るときはもう一度

キャッチ/消去 L 回線断 **を押す**

## 子機でキャッチホンを使う 

**1** 通話中に呼出音が聞こえたら

カナ/キャッチ **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイ（☞8-7～8-9ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

**2** もとの通話に戻るときはもう一度

**を押す**

### お知らせ

- キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAXスタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「０」回に設定すると、ファクス受信中、「Ｌモード」との通信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（☞8-7～8-9ページ）

# からくり時計を使う（親機）

決まった時刻（毎時０分）になると、液晶ディスプレイにキャラクターのアニメーションを表示したり、メロディーなどを演奏することができます。
時間ごとにアニメーション表示とメロディー演奏をするかどうかの動作を設定することができます。

## 動作を設定する

**1** 登録 を押す

登録設定
1 初期登録
2 からくり時計設定
3 音関連設定
4 画面設定
5 電話帳
で選択，[/決定] で決定
戻る

**2** ▲または▼で「からくり時計設定」を選び、/決定 を押す

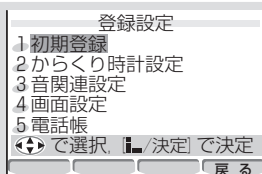
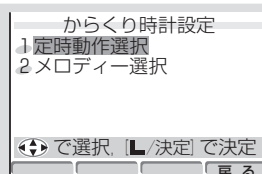
からくり時計設定
1 定時動作選択
2 メロディー選択
で選択，[/決定] で決定
戻る

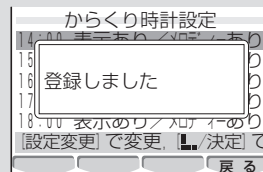
**3** ▲または▼で「定時動作選択」を選び、/決定 を押す

からくり時計設定
14:00 表示あり／ﾒﾛﾃﾞｨｰあり
15:00 表示あり／ﾒﾛﾃﾞｨｰあり
16:00 表示あり／ﾒﾛﾃﾞｨｰあり
17:00 表示あり／ﾒﾛﾃﾞｨｰあり
18:00 表示あり／ﾒﾛﾃﾞｨｰあり
[設定変更] で変更，[/決定] て
全動作　全停止　設定変更　戻る

●表示あり／メロディーあり…アニメーションを表示し、メロディーを鳴らします。
表示あり／メロディーなし…アニメーションを表示し、メロディーは鳴りません。
停止…アニメーションもメロディーも動作しません。

**工場出荷時は下記の設定になっています。**

7:00〜21:00…表示あり／メロディーあり
22:00〜6:00…停止

**4** ▲または▼で設定したい時間を選ぶ

**5** 設定変更 を数回押して、動作を選ぶ

●設定変更ボタンを押すたびに動作メニューが切り替わります。

**6** /決定 を押す

**7** 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **演奏するメロディーを変更するときは**

① 登録 を押す

② ▲ または ▼ で「からくり時計設定」を選び、決定 を押す

③ ▲ または ▼ で「メロディー選択」を選び、決定 を押す

④ ▲ または ▼ でメロディーを選び、決定 を押す

⑤ ▲ または ▼ で「登録する」を選び、決定 を押す

「演奏する」を選び 決定 を押すと選んだメロディーを聞くことができます。

Ｌモードでダウンロードした曲も演奏できます。

⑥ 停止 を押す

■ **全ての時間の動作を一括で設定するときは**

①「動作を設定する」の手順３まで操作を行う

② 全ての時間でアニメーション表示、メロディー演奏をするときは 全動作 を押す

全ての時間でアニメーション表示、メロディー演奏をしないときは 全停止 を押す

③ 決定 を押す

④ 停止 を押す

**お知らせ**

● 親機や子機を使っているとき（通話中やコピー時など）は、からくり時計は動作しません。

● Ｌモードで着信メロディーをダウンロードして、からくり時計のメロディーにすることができます。（着メロダウンロード ☞7-35ページ）

● 設定したメロディーは、すべての時刻で共通です。時刻ごとにちがうメロディーの設定はできません。

● メロディー音の大きさは、親機の呼出音量と連動しています。大きさを変えるときは、「親機の呼出音量を変える」操作で変えてください。（☞1-31ページ）

● 親機の呼出音を「切」にしているときはメロディーは流れません。

● からくり時計が動作するのは毎時０分です。そのほかの時刻に設定することはできません。

● 固定メロディー（「TOYS SYMPHONY」など）とダウンロードメロディーでは再生回数が異なります。

ダウンロードメロディー：アニメーション表示終了まで繰り返し

固定メロディー：あらかじめ決められている回数で終了（アニメーション表示の途中で止まることもあります）

● 待機画面の設定をからくり時計にしていなくても、本機能ははたらきます。

● 表示やメロディーをありに設定していても、毎時０分から１分以上通話などを行っていた場合は動作が省略されます。（毎時０分から１分以内に操作を終了すればその時点で動作します）

● 時刻は、めやすとしてご利用ください。

なお、誤差が生じた場合は、日付・時刻の設定（☞1-35ページ）をやり直してください。

（時計精度：平均月差±60秒以内）

# カレンダー機能を使う（親機）

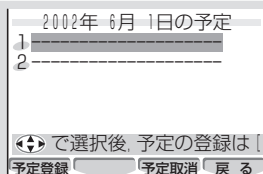
親機のカレンダーに１日２件までの予定を登録しておくことができます。（最大100件）予定を登録した日の前日と当日に液晶ディスプレイに表示してお知らせします。

## カレンダーに予定を登録する

**1** 機能選択 を押す

**2** ▲または▼で「カレンダー機能」を選び、/決定 を押す

●すでに予定が登録されている日には マークが表示されています。

**3** ▲▼◄►で予定を登録したい日を選び、/決定 を押す

●前月ボタン、次月ボタンを押すと前の月や次の月を表示できます。
●今日ボタンを押すと当日の月のカレンダーが表示され、当日にカーソル表示されます。

**4** 予定登録 を押す

●予定（行事）のマークは、24種類内蔵されています。
●予定の名前を変更することができます。
（☞6-30ページ）

**5** ▲▼◄►で予定を選び、/決定 を押す

● ２件目を登録するときは手順３のあと▼で２件目を選んでから予定登録ボタンを押してください。

**6** 停止 を押す

■ **予定が登録されている前日と当日、待機画面に予定（掲示板）が表示されます。**

■ **待機画面に掲示板を表示させない（通常の画面にする）ときは**

① 機能選択 を押す
② ▲または▼で「カレンダー機能」を選び、/決定 を押す
③ 掲示板削除 を押す

④ 停止 を押す

日付が変わったり、日付を変更したり、新しく予定を登録・消去すると、また待機画面に掲示板が表示されるようになります。

### ■ 内蔵されている予定（行事）のマーク

### ■ 予定を確認するときは

① 機能選択 を押す

② ▲ または ▼ で「カレンダー機能」を選び、決定 を押す

③ ▲ ▼ ◀ ▶ で確認したい日を選び、決定 を押す

登録されている予定が表示されます。

④ 停止 を押す

### ■ 予定の名前を変えて登録したいときは

① 機能選択 を押す

② ▲ または ▼ で「カレンダー機能」を選び、決定 を押す

③ ▲ ▼ ◀ ▶ で予定を登録したい日を選び、決定 を押す

④ 予定登録 を押す

⑤ ▲ ▼ ◀ ▶ で名前を変更したい予定を選び、予定名変更 を押す

⑥ 名前（全角6文字／半角12文字まで）を入力し直して（☞1-39～1-42ページ）決定 を押す

⑦ 決定 を押す

⑧ 停止 を押す

### ■ 予定を消去するときは

① 機能選択 を押す

② ▲ または ▼ で「カレンダー機能」を選び、決定 を押す

③ ▲ ▼ ◀ ▶ で消去したい日を選び、決定 を押す

④ ▲ または ▼ で消去したい予定を選び、予定取消 を押す

⑤ 停止 を押す

### ■ 過去の予定をすべて消去するときは

① キャッチ/消去（回線断） を押す

② ▲ または ▼ で「カレンダー予定消去（過去分のみ）」を選び、決定 を押す

③ 決定 を押す

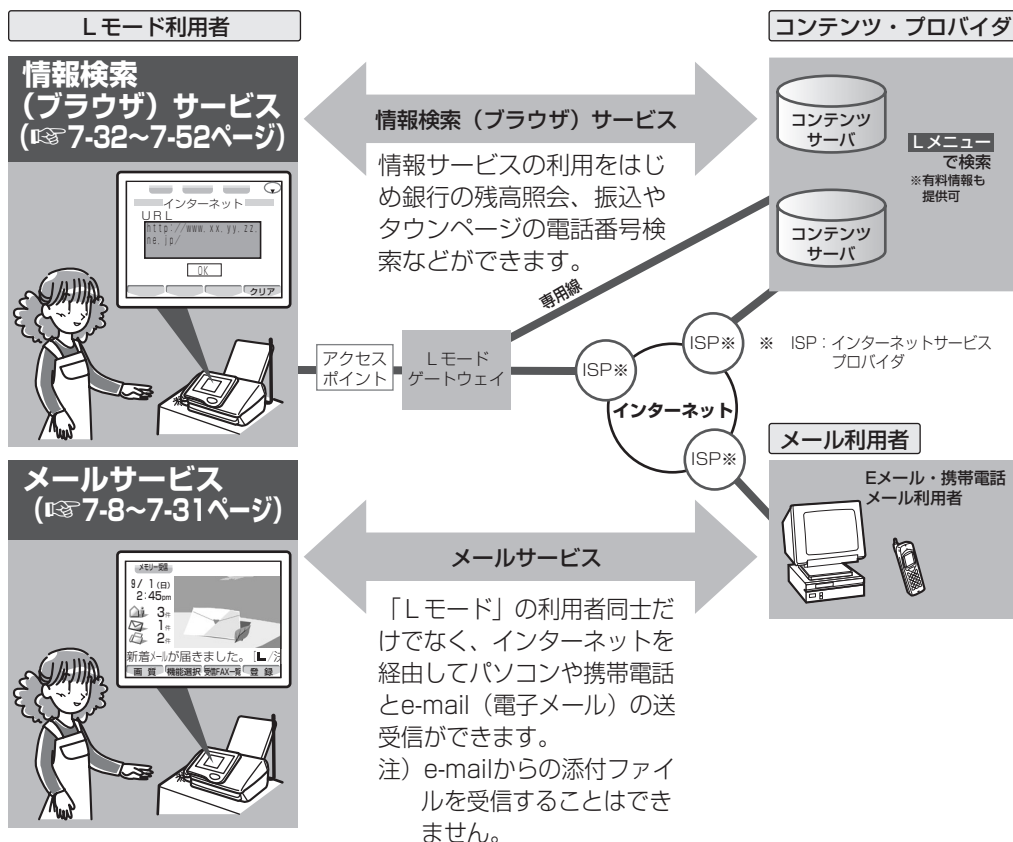
④ 停止 を押す

# Ｌモード

# Ｌモードサービスについて

## Ｌモードって何？

Ｌモードは、Ｌモード対応の電話機やファクシミリを使って情報検索やメールの送受信をご利用いただけるサービスです。このサービスをご利用いただくには、NTTと利用契約をする必要があります。また、Ｌモードサービスをご利用時は、必ずナンバー・ディスプレイの設定（☞8-3ページ）を「使用する」に設定したままお使いください。

### Ｌモードサービスのしくみ

### Ｌモードを利用するには？

Ｌモードを申し込むには、付属の申込書を郵送する方法と、親機から窓口に電話する方法があります。（送料・通信料は無料です。）ご購入店等ですでに申込書を書かれた場合は必要ありません。

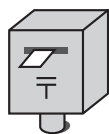
## Ｌモードを郵送で申し込む

**1 NTTへ申し込みをする。**

利用される場合は必ずNTTへ利用契約を行ってください。

付属の「Ｌモードサービス申込書」に必要事項を記入します。

切手を貼らずにポストへ投函。

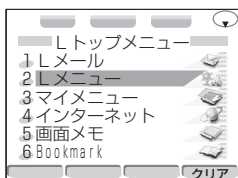
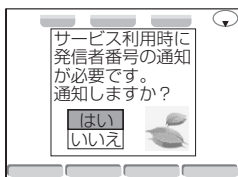
数日後、Ｌモード使用説明書が届けられます。（申し込み完了）

Ｌモードの利用開始日は、登録手続きが必要なためNTTが申込書を受領した数日後からとなります。ご利用開始日などの詳細は**局番なしの116番まで**お問い合わせください。

**2 初期設定をする。**

はじめて利用されるときは、まず初めにアクセスポイント電話番号（センター番号）の設定をします。（☞7-5ページ）

## Ｌモードを本機の操作で申し込む

・本機の操作で申し込み窓口に電話をかけて申し込むことができます。通信料は無料です。
受付時間：午前９時〜午後８時　年中無休（年末年始を除く）

**取扱説明書に記載のLモード画面の内容や操作手順は2002年8月5日現在のもので、予告なく変更される場合があります。**

**1** （L/決定）を押して、左記の画面が表示されたら「はい」を選んで、（L/決定）を押します。

※ご利用にあたっては、発信者番号が必要です。「いいえ」を選ぶとお申し込みできません。

※Ｌ/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30〜60秒程度かかります。

**2** 「OK」を選んで（L/決定）を押します。

**3** 「Ｌメニュー」を選んで、（L/決定）を押します。

**4** 「Lモードかんたんお申込はこちら」を選んで、（L/決定）を押します。

**5** 「Lモードのお申し込みをしたい方はこちら」を選んで、（L/決定）を押します。

**6** 「承諾事項を読む」を選んで、（L/決定）を押します。

**7** 画面の内容を確認し、「承諾事項の画面へ」を選んで、（L/決定）を押します。

**8** 承諾事項が表示されますので、画面をスクロールしてお読みください。ご確認されましたら、「承諾事項を承諾し、Ｌモードを申し込む」を選んで、（L/決定）を押します。

**9** 「オペレータに接続する」を選んで、（L/決定）を押します。お申し込みをするためにオペレータに接続します。

**10** オペレータへの電話番号が表示されますので、「はい」を選んで（L/決定）を押します。
オペレータに電話がつながります。受話器をあげてオペレータとお話ください。（無料）
必要事項をお伺いしますので、お答えください。お申し込みが終了しましたら、受話器をおろして電話をお切りください。

**11** NTTにて工事を行います。
（訪問による工事はありません）

ファクスで、利用設定をします。（☞7-5ページ）
※初めてLモードをご利用になるときには、まず初めに利用設定をしてください。

Ｌモードサービスについて

Ｌモード

## 携帯電話のモバイルカメラで撮った画像も見られます！

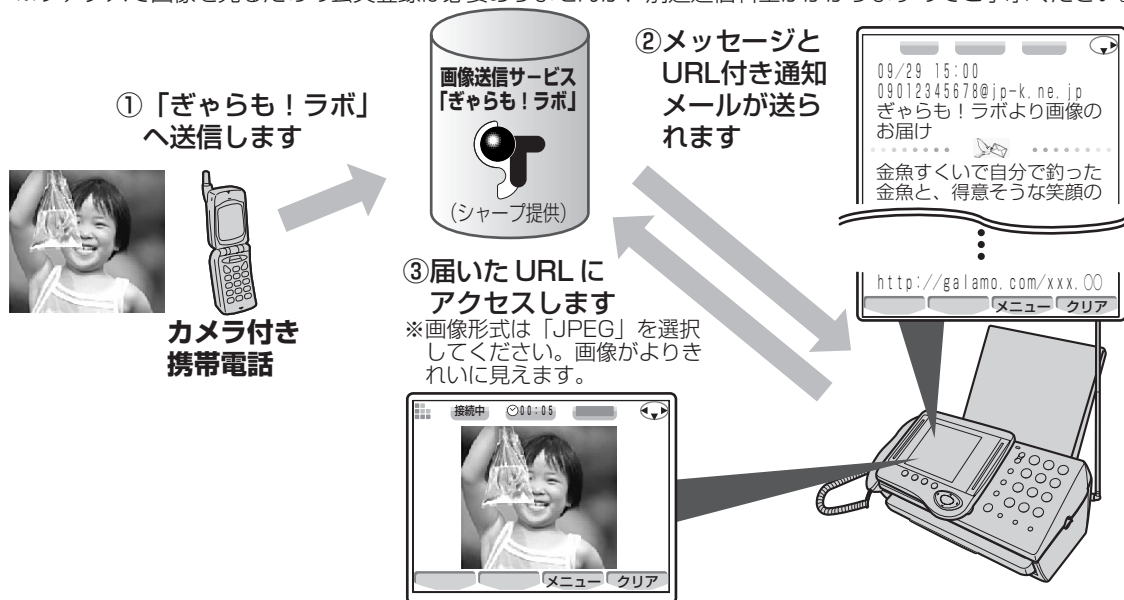
当社は、ジェイフォン（株）の携帯電話向けに「Space Town for J」を提供しています。
この「Space Town for J」の画像送信サービス「ぎゃらも！　ラボ」を使うと、携帯電話のモバイルカメラで撮影した写真をＬモードを経由して見ることができます。

※ご利用できる携帯電話は、ジェイフォン（株）のJ-SH04/06/07/08/51です。（2002年9月現在）
※携帯電話で「ぎゃらも！　ラボ」サービスをご利用になるには、会員登録が必要です。
基本料金、利用料は無料です。ただし、通信料などはご利用者の負担となります。ご了承ください。
※ファクスで画像を見るための会員登録は必要ありませんが、別途通信料金がかかりますのでご了承ください。

①「ぎゃらも！ラボ」へ送信します

カメラ付き携帯電話

②メッセージとURL付き通知メールが送られます

③届いたURLにアクセスします
※画像形式は「JPEG」を選択してください。画像がよりきれいに見えます。

### Ｌモードの利用料金について

**月額使用料**…Ｌモードサービスへ申し込みをされ、利用契約をされると月額使用料がかかります。

**通　信　料**…「Ｌモード」へ接続中は通信料がかかります。（接続中は、画面に マークが表示されます。）

**詳しくは下記へお問い合わせください。**

Ｌモードサービスの詳しいお問い合わせは
局番なしの　**116**番へ

### アドバイス！

※**「切り忘れ防止タイマー」（☞7-54ページ）**
この機能は、「Ｌモード」へ接続中に何も操作しなかった時、自動的に「Ｌモード」の接続を切断する機能です。
「Ｌモード」の接続を切り忘れて、通信料金がかかるのを防ぎます。
ご購入時は、「３分」に設定されています。

※**通信料金を節約してサイト（番組）のページを見る**
インターネットなどで見たいサイト（番組）のページを表示している時に キャッチ/消去 Ｌ回線断 を押すと、表示しているページは、そのままで「Ｌモード」の接続を切断することができます。
通信料金を節約してページを見るときに便利です。

### お知らせ

● PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど発信先の電話番号の先頭に0をつける必要がある通信機器を接続した場合は、Ｌモードサービスをご利用いただけません。

※ 本商品のインターネット機能は株式会社 ACCESS の Compact NetFront® を搭載しています。

Compact NetFront は株式会社 ACCESS の日本国における登録商標です。

※ 米国特許第4,558,302号および対応外国特許に基づくライセンスを取得しております。

※ この製品には、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。

※ Datalight is a registered trademark of Datalight,Inc.
FlashFX™ is a trademark of Datalight,Inc.

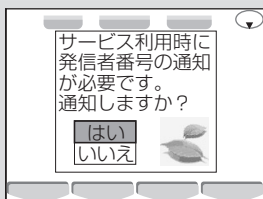
U.S.Patent Office 5,860,082

# はじめてＬモードサービスを利用する

Ｌモードサービスをはじめてご利用になる場合、設定センターからアクセスポイント電話番号（センター番号）を取得し、親機に登録するための操作を行います。（端末機器自動設定）

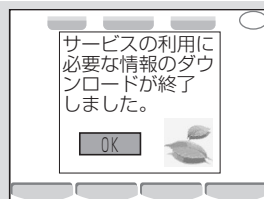
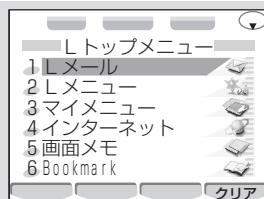
## Ｌモードサービスの利用設定をする

**1** L/決定 **を押す**

**2 「はい」を選び、L/決定 を押す**

●「いいえ」を選択し、Ｌ/決定ボタンを押すと「サービスのご利用には発信者番号の通知が必要です。」が表示され、サービス利用の設定ができません。「Ｌモード」をご利用になるときは、「はい」が選択されていることを確認し、Ｌ/決定ボタンを押してください。

●自動的に設定センターへ接続され、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得します。

**3 「サービスの利用に必要な情報のダウンロードが終了しました。」と表示されたら L/決定 を押す**

●アクセスポイント電話番号（センター番号）の親機への登録が終了します。

**4 「Ｌトップメニュー」が表示される**

●Ｌモードのサービスをご利用いただけます。▲または▼で項目を選んでください。

**5 停止 または クリア を押すと、待機画面に戻る**

### ■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

### ■ 「センターとの接続に失敗しました。」と表示されたときは

端末機器自動設定がうまく設定できませんでした。もう一度操作をやり直してください。または、登録メニューから設定することもできます。
（「端末機器自動設定」☞7-53ページ）
また、Ｌモードサービスを契約していないときも表示されます。

### ■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

### お知らせ

● 回線の状態によっては、まれに「Ｌモード」と通信できない場合があります。
● 引っ越しや移転などをしたときは、端末機器自動設定を行わないと「Ｌモード」と通信できなくなる場合があります。
● Ｌ/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30～60秒程度かかります。

## Ｌモードのトップメニュー

**Ｌメール**
メールの作成や送受信ができます。

**Ｌメニュー**
生活に役立つ情報が取り出せます。

**マイメニュー**
お気に入りの番組をマイメニューに登録しておくと、すぐに表示させることができます。

**インターネット**
ホームページのアドレスを入力するとインターネット上のホームページを見ることができます。

**画面メモ**
表示させた画面を保存することができます。

**Bookmark**
インターネットのアドレスを登録しておくとすぐに表示することができます。

**ファッピィプラザ**
シャープスペースタウンの案内を表示します 。

### 用語について

**ゲートウェイ：**
異なるプロトコルを持つネットワークを相互に接続するための、ハードウェアやソフトウェアのこと。

**コンテンツ：**
コンピュータで、画像、動画、音声、文章などを組み合わせて、一つの作品として仕上げたもの。

**サイト：**
サーバが設置された場所のこと。おもにインターネット上のサーバに対して使う。

**ダウンロード：**
他のコンピュータ上にあるデータを、ネットワークを通じて自分の端末側にコピーすること。

**センター：**
メールの送受信やブラウザページの閲覧をするために、回線を接続するところ。

**タグ：**
ファイルの中の特定の場所につけられた印のこと。そのタグを指定することで、その場所へ簡単に移動できる。

**Bookmark「ブックマーク」：**
wwwなどのオンラインドキュメントにおいて、特定のページ位置を記録したもの。

**URL「ユーアールエル」：**
Uniform Resource Locator の略。www で使われる、インターネット上の情報にアクセスする方法を示す表記。（インターネットのURLのことをアドレスと呼ぶこともある）
「http://www.○○○.co.jp/△△△/」というように、「プロトコル：//サーバ名/パス名」と記述される。

**Ｌモードやサイトによっては「パスワード」が必要になります。**

●パスワードの変更のしかた（☞7-9ページ）
別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」もご覧ください。

### お知らせ

● 停電などで電源が切れるとアクセスポイント電話番号（センター番号）が消去されます。もう一度操作をして登録し直してください。
（☞7-5ページ）

● 端末機器自動設定中に、電話やファクスは使用できません。

## Ｌモード利用時のディスプレイ表示

「Ｌモード」利用時は液晶ディスプレイに次の様に表示されます。各メニューやページ等で表示される内容が変わります。

**（ブラウザマーク）**
「Ｌモード」へ接続している間、表示または点滅しています。
**表示中は通信料金がかかります。**
「Ｌモード」の接続が切れると（ブラウザマーク）は消えます。

**「Ｌモード」を終了するときは**
停止 を押します。

**表示はそのままで「Ｌモード」の接続を切断するときは**
キャッチ/消去 Ｌ回線断 を押します。

**メニュー**
メニューの項目が表示されます。選ばれている項目が（オレンジ色）のカーソルで表示されます。
項目を表示するには ▲ または ▼ で項目を選んで /決定 を押します。
ただし、一部ご利用になれないサイトがあります。

**クリア**
クリア が表示されているときに、クリア を押すと次のように動作します。
・ブラウザサービスを使用しているときは、Ｌトップメニューが表示されます。
・Ｌメールの操作をしているときは、1つ前の画面が表示されます。

00：05
接続時間の目安を分単位で表示します。

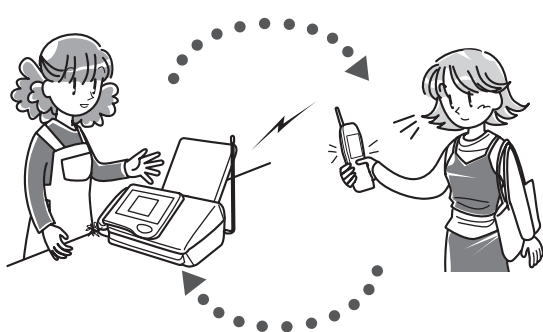
画面の読み込みが終わるまでの目安を目盛りで表示します。

**方向表示**
サイトを表示しているときや文字入力モードのときに、ページやカーソルの移動が可能な方向が表示されます。
は、画面がスクロールできる方向や選べる項目がある方向を表示します。▲ または ▼ を押して操作してください。
は、1つ前のページに戻る、または1つ先のページに進むことができるときに表示されます。1つ前に戻るときは ◀ を、1つ先に進むときは ▶ を押してください。

### お知らせ

- コンテンツによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- コンテンツ提供者のサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 「Ｌモード」対応のページとは、「Ｌモード」に対応したタグ（ファイル中の特定の場所につけられた印）などで作成されたものです。文字のみのページや、画像（GIF、JPEG形式のみ）も表示できます。
- Ｌトップメニューを表示しているとき、「Ｌモード」と回線が接続されている場合もあります。回線が接続されている場合は、ブラウザマークが表示されています。
- この取扱説明書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状が異なる場合があります。

# Ｌメールについて

Ｌモードの利用者同士だけでなく、パソコンや携帯電話をお使いの方とも、メールのやりとりができます。

**下記の設定の詳細については、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」もご覧ください**

● **パスワード設定（変更のしかた　☞7-9ページ）**
Lメールやサイトによっては、パスワードが必要になります。

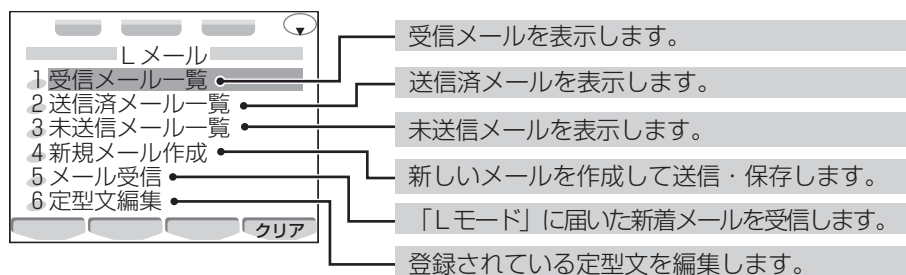
● **マイアドレス設定（設定のしかた　☞7-11～7-12ページ）**
Lメールのメールアドレスは、ご契約時は「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」となっています。

● **メール転送設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
メールの転送機能の設定と、その際の転送先アドレスを登録することができます。

● **着信お断りメール設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
受信したくない相手の方からのメールに対して、こちら側では受信を拒否していることを伝えるメールを自動的に返信することができます。あらかじめメールを受信したくない相手の方のメールアドレスを登録しておくことが必要です。これにより不要なメールの受信を避けることができます。

● **メールグループ設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
同じ内容のメールを複数の相手（グループ）に送るとき便利な機能です。メールグループは10件まで設定でき、各メールグループには49件までの送信先アドレスを登録できます。



## ■ メールメニュー

## ■ メールが届いたとき

「Lモード」に新着メールが届いたら、親機のディスプレイにメッセージを表示してお知らせします（メッセージ有り通知（☞7-25ページ））。新着メールは「Lモード」に一時保管されています。保管された新着メールは、「メールを受信して表示する」（☞7-26ページ）を行い親機に受信します。

● 「Lモード」での新着メール保管件数は最大約200件、保管期間は14日間です。14日間を超えた新着メールは自動的に削除されます。

● 親機でメールを受信すると「Lモード」に保管されていた新着メールは削除されます。受信したメールは親機に受信メールとして保存されます。

**お知らせ**

● e-mailからの添付ファイルを受信することはできません。

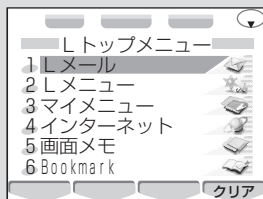
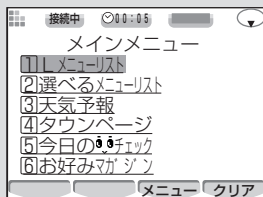
# パスワードを変更する

Lモードのご利用にあたり、お客様の確認が必要な場合はパスワード（数字4ケタ）の入力が必要になります。ご契約時には「0000」に設定されていますので、変更してからお使いください。詳しくは、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」もご覧ください。

**パスワードが必要な場合**

（すべて同じパスワードを使用してください。）
◆有料番組の申込および解約
◆L案内メールサービスの申込および解約
◆パスワードの変更
◆各種サービス機能の変更や設定

## パスワードを変更する

**1** 決定を押す

Lトップメニュー
1 Lメール
2 Lメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

**2** ▲または▼で「Lメニュー」を選び、決定を押す

接続中 00:05
メインメニュー
1 Lメニューリスト
2 選べるメニューリスト
3 天気予報
4 タウンページ
5 今日のチェック
6 お好みマガジン
メニュー クリア

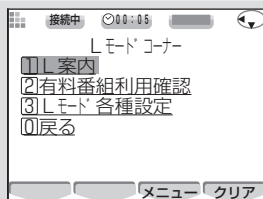
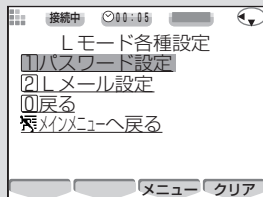
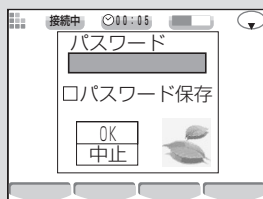
**3** ▲または▼で「Lモードコーナー」を選び、決定を押す

接続中 00:05
Lモードコーナー
1 L案内
2 有料番組利用確認
3 Lモード各種設定
0 戻る
メニュー クリア

**4** ▲または▼で「Lモード各種設定」を選び、決定を押す

接続中 00:05
Lモード各種設定
1 パスワード設定
2 Lメール設定
0 戻る
メインメニューへ戻る
メニュー クリア

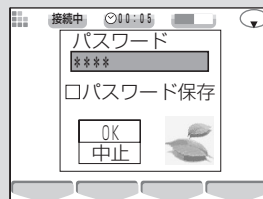
**5** 「パスワード設定」を選び、決定を押す

接続中 00:05
パスワード
□パスワード保存
OK
中止

●パスワード入力画面が表示されます。

**6** 変更前のパスワードを入力する

(☞7-10ページ)

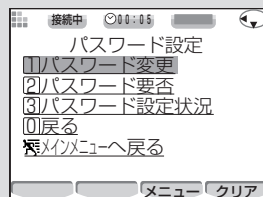
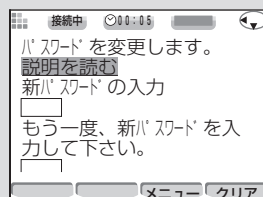
ご契約時は「0000」（数字4桁）に設定されています。

接続中 00:05
パスワード
****
□パスワード保存
OK
中止

●2回目以降の変更の場合は、ご自分の設定されたパスワードを入力します。

**7** ▲または▼で「OK」を選び、決定を押す

接続中 00:05
パスワード設定
1 パスワード変更
2 パスワード要否
3 パスワード設定状況
0 戻る
メインメニューへ戻る
メニュー クリア

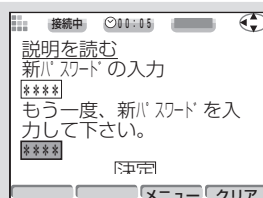
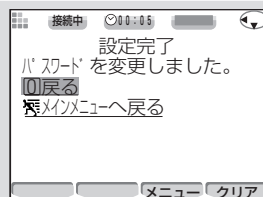
**8** 「パスワード変更」を選び、決定を押す

接続中 00:05
パスワードを変更します。
説明を読む
新パスワードの入力
もう一度、新パスワードを入力して下さい。
メニュー クリア

**9** ▲または▼で項目を選び、新パスワード（数字4桁）を2回入力する

(☞7-10ページ)

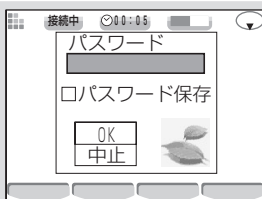
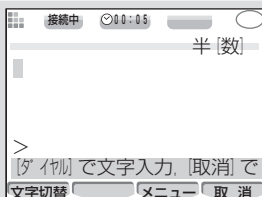
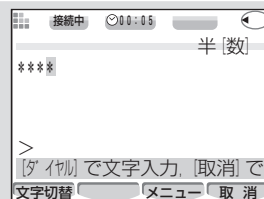
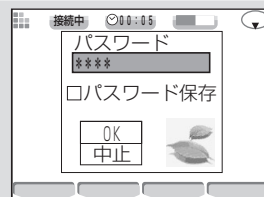
接続中 00:05
説明を読む
新パスワードの入力
****
もう一度、新パスワードを入力して下さい。
****
決定
メニュー クリア

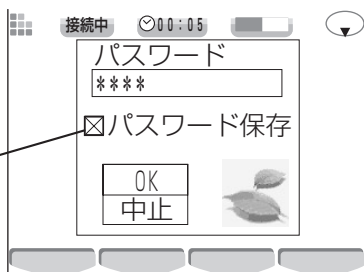
**10** ▲または▼で「決定」を選び、決定を押す

接続中 00:05
設定完了
パスワードを変更しました。
0 戻る
メインメニューへ戻る
メニュー クリア

●パスワードが変更されました。

### お知らせ

● パスワードを変更されない場合は「0000（数字4ケタ）」をパスワードとして設定されたと見なします。
● パスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。
● パスワードの変更方法や設定の状況を確認する方法については「Lモード使用説明書」をご覧ください。（2002年9月現在）

ご契約後初めてお使いになるときは、パスワードが「0000」に設定されています。まず、7-9ページ「パスワードを変更する」の操作をしてからこのページの操作をしてください。

■ **パスワード保存について**

パスワードを入力するとき、▲ または ▼ で「パスワード保存」を選び、決定 を押してチェックを入れると、パスワードが保存されます。
パスワードを保存すると、２回目からはパスワード入力画面が表示されなくなり、入力の手間が省けます。
ただし、ほかの方もパスワードなしで操作できるようになるため、ご注意ください。

### お知らせ

- 間違ったパスワードを入力した場合は再度パスワード入力画面が表示されます。この場合はパスワードをお確かめのうえもう一度パスワードの入力操作を行ってください。
- パスワードを４回連続して間違えて入力すると、メッセージが表示され、通信が自動的に切断されます。
- パスワードを保存した場合はご契約者本人以外の方が本商品からLモードを利用したときにも保存したパスワードが自動的に送信されます。
本来パスワード入力が必要なサービスもご契約者と同様に利用可能となりますのでご注意ください。
- パスワード入力の要／不要を設定できる項目は、「マイメニューの利用」「メールサービスの利用」「サイト（番組）の閲覧」です。
- パスワードをお忘れになった場合については、「Lモード使用説明書」をご覧ください。

# マイアドレスを設定する

メールアドレスは、ご契約時には「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」になっています。これを、「マイアドレス（お客様が任意に選ぶアドレス）@pipopa.ne.jp」に変えることができます。
不要なメール（迷惑メールなど）を受け取らないようにするために、マイアドレスへの変更をおすすめします。詳しくは、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」もあわせてご覧ください。

## マイアドレスを設定する

**1** **/決定を押す**

Ｌトップメニュー
1 Ｌメール
2 Ｌメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

**2** **▲または▼で「Ｌメニュー」を選び、/決定を押す**

接続中 00:05
メインメニュー
1 Ｌメニューリスト
2 選べるメニューリスト
3 天気予報
4 タウンページ
5 今日のチェック
6 お好みマガジン
メニュー クリア

**3** **▲または▼で「Ｌモードコーナー」を選び、/決定を押す**

接続中 00:05
Ｌモードコーナー
1 Ｌ案内
2 有料番組利用確認
3 Ｌモード各種設定
0 戻る
メニュー クリア

**4** **▲または▼で「Ｌモード各種設定」を選び、/決定を押す**

接続中 00:05
Ｌモード各種設定
1 パスワード設定
2 Ｌメール設定
0 戻る
メインメニューへ戻る
メニュー クリア

**5** **▲または▼で「Ｌメール設定」を選び、/決定を押す**

接続中 00:05
パスワード
□パスワード保存
OK
中止

**6** **お客様の設定されたパスワード（設定していないときは数字の「0000」）を入力し、▲または▼で「OK」を選び、/決定を押す**
（☞7-10ページ）

接続中 00:05
Ｌメール設定
1 マイアドレス設定
2 メール転送設定
3 着信お断りメール設定
4 メールグループ設定
5 Ｌ案内メールサービス申込み・解約
メニュー クリア

**7** **「マイアドレス設定」を選び、/決定を押す**

接続中 00:05
マイアドレス設定
1 登録／変更
2 削除
3 電話番号アドレスの併用設定
4 設定確認
0 戻る
メニュー クリア

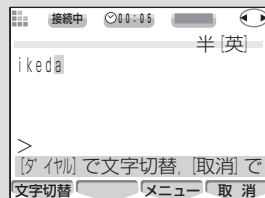
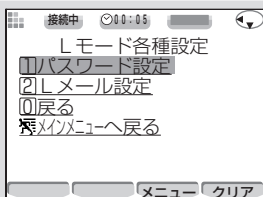
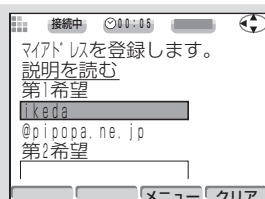
**8** **「登録／変更」を選び、/決定を押す**

接続中 00:05
マイアドレスを登録します。
説明を読む
第1希望
@pipopa.ne.jp
第2希望
メニュー クリア

**9** **「第１希望」の項目を選び、/決定を押してから、マイアドレス（@より前の部分）を入力する**

半［英］
ikeda
[ダイヤル]で文字切替，[取消]で
文字切替 メニュー 取消

**10** **/決定を押す**

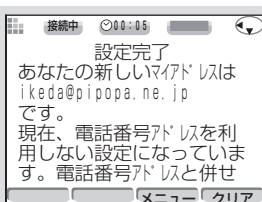
接続中 00:05
マイアドレスを登録します。
説明を読む
第1希望
ikeda
@pipopa.ne.jp
第2希望
メニュー クリア

●第１希望の欄に入力したアドレスが表示されます。

**11** **第２希望、第３希望のマイアドレスも手順９～10と同じように入力する**

次ページへ→

→つづき

**12 すべて入力が終わったら、「決定」を選び、 /決定 を押す**

設定完了
あなたの新しいマイアドレスは
ikeda@pipopa.ne.jp
です。
現在、電話番号アドレスを利用しない設定になっています。電話番号アドレスと併せ
メニュー　クリア

- 登録したマイアドレスが表示されます。
- ほかのお客様が使用しているマイアドレスは登録できません。
- 画面に「ご希望のメールアドレスはすでに使用されています。」と表示された場合は、メールアドレスの変更ができませんでしたので、再度別のマイアドレスの入力をお試しください。

■ **マイアドレスに使える文字**

**使える文字**

| | |
|---|---|
| **半角英数字** | A~Z（大文字、小文字の区別なし） 0~9 |
| **記号** | －（ハイフン）<br>_ （アンダーバー）<br>. （ピリオド）<br>※ピリオドは最後の一文字には使用できません。 |
| **文字数** | 3文字以上16文字以内 |

マイアドレスの部分は、ご自分のお名前そのものや簡単な英数字の組み合わせ（例：ABCDe、1234A、）など他の方に容易に推測されやすいものは、迷惑メールや間違いメールが届く原因ともなりますので、文字の組み合わせには十分気をつけて、お選びください。
選ばれたマイアドレスが、既に他のお客さまに使われている場合には、そのアドレスはご利用いただけません。

## お知らせ

- マイアドレスの設定には通信料がかかります。
- マイアドレスへの変更を完了しますと、すぐに新しいメールアドレスをご利用になれます。
- マイアドレスは何回でも変更することができます。
- マイアドレスを変更してから一定期間内は、変更したお客さまのみが変更前のマイアドレスに戻すことができます。その期間内は変更前のマイアドレスが他のお客さまへ提供されることはありません。

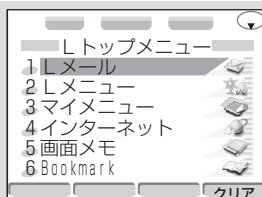
| 変更前マイアドレスのご利用期間 | マイアドレス変更後に、変更前のマイアドレスに戻すことができる期間 |
|---|---|
| 1日未満（24時間以内） | なし |
| 1日以上10日未満 | マイアドレスを変更後10日間 |
| 10日以上 | マイアドレスを変更後90日間 |

- メールアドレスの変更後も、アドレスを変更する前に届いていた未読メールを読むことができます。
- お引越しなどによりお客さまのご利用電話番号が変更になった場合、電話番号アドレス（ご利用電話番号@pipopa.ne.jp）は変わりますが、マイアドレスは変更されません。

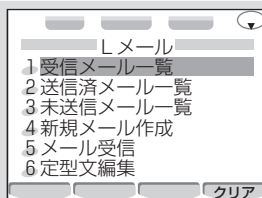
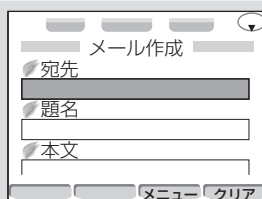
# メールを新しく作って送信する

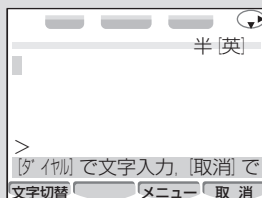
新規にメールを作成するには、「宛先（メールアドレス）」「題名」「本文」を入力します。作成したメールは、「Lモード」利用者やインターネットを経由して、e-mailをお使いの方へ送信します。

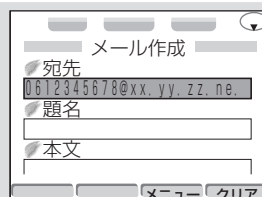
## 親機でメールを送信する

**1 [/決定]を押す**



●Lトップメニューが表示されます。

**2 [▲]または[▼]で「Lメール」を選び、[/決定]を押す**

**3 [▲]または[▼]で「新規メール作成」を選び、[/決定]を押す**

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（☞7-31ページ）送信済メールと未送信メールは、合わせて30件まで保存できます。

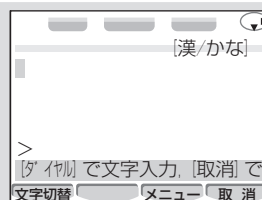
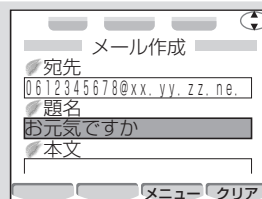
**4 宛先のテキストボックスを選び、[/決定]を押す**

●文字の入力画面になります。

**5 宛先を入力し、[/決定]を押す**
**（宛先は、1件しか入力できません）**

●「Lモード利用時に文字を入力する」（☞7-15～7-17ページ）を参照してください。半角で50文字まで入力できます。改行はできません。
スペースは使用しないでください。

●文字の入力モードが半[英]のとき[＊]を押すとよく利用する定型文が表示されます。

●電話帳から宛先を検索するときは（☞7-18ページ）

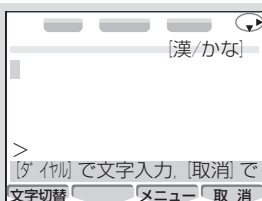
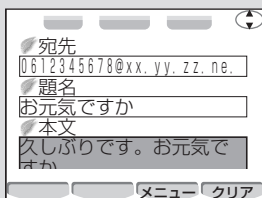
**6 [▼]で題名のテキストボックスを選び、[/決定]を押す**

**7 題名を入力し、[/決定]を押す**

●「Lモード利用時に文字を入力する」（☞7-15～7-17ページ）を参照してください。全角30文字分（半角60文字）まで入力できます。改行はできません。

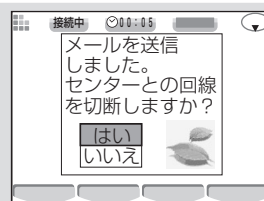
次ページへ→

→つづき

**8** ▼で本文のテキストボックスを選び、L/決定を押す

**9** 本文を入力し、L/決定を押す

● 「Lモード利用時に文字を入力する」（☞7-15～7-17ページ）を参照してください。全角500文字（半角1000文字）まで入力できます。定型文（☞7-19ページ）を挿入することができます。

**10** メニューを押す

**11** 「送信」を選び、L/決定を押す

● 「Lモード」に接続して、作成したメールを送信します。

● 「保存」を選んで、L/決定ボタンを押すと作成したメールが未送信メールとして保存されます。保存したメールを表示して編集・削除・送信することができます。（☞7-21、7-22、7-23、7-31ページ）

**12** 「はい」を選ぶ

**13** L/決定を押す

●回線が切断され待機画面に戻ります。

●送信したメールは「送信済メール」として本機に保存されています。

■ **途中でやめるときは**

停止を押します。（待機画面に戻ります。）

**アドバイス！**

メールの設定が正しいかどうかを確認するためにまず、ご自分宛にメールを作成して送信してみることをおすすめします。受信のしかたは7-25～7-26ページをご覧ください。

## お知らせ

● 宛先、題名、本文それぞれの入力可能桁数を超えた場合は、新たに文字を入力できなくなります。
● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
● 回線が接続されていない状態でメール作成中にかかってきた電話を受けることができます。文字を入力中は、通話を終了すると手順5・7・9の画面に戻ります。手順5・7・9の画面を表示していたときは、通話を終了すると待機画面に戻ります。その場合、入力していた内容は保存されません。
● メール送信中など回線が接続されているときは、電話やファクスを使用できません。
● 回線の状態によっては、「Lモード」と接続できない場合があります。「Lモード」と接続できなかった場合は、「センターとの接続に失敗しました。」と表示されます。
● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。
● Lモード以外のメールサービスをご利用の方とメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
● Lモードの通信中に、回線の通信状況等によりメールの送受信ができない場合も、通信料がかかります。
● 絵文字の利用は、メール送受信のときだけ可能です。（ただし、相手側が「Lモード」利用者以外の場合は、うまく表示できない場合があります。）

# Lモード利用時に文字を入力する

Lメールの宛先（メールアドレス）・題名・本文やサイト（番組）のページなどで漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・絵文字などを入れることができます。

■ **送受信可能文字数**

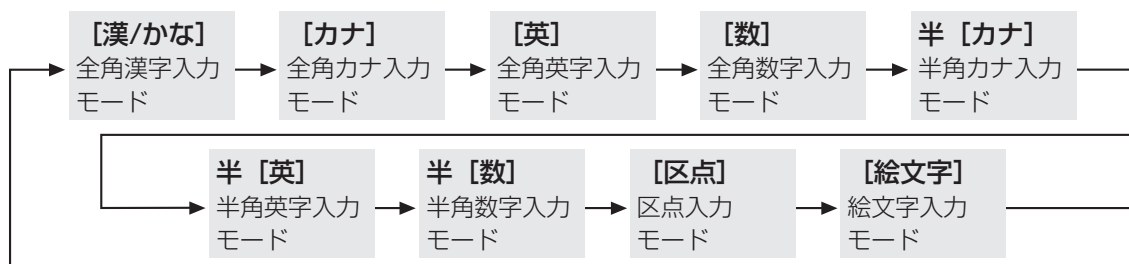
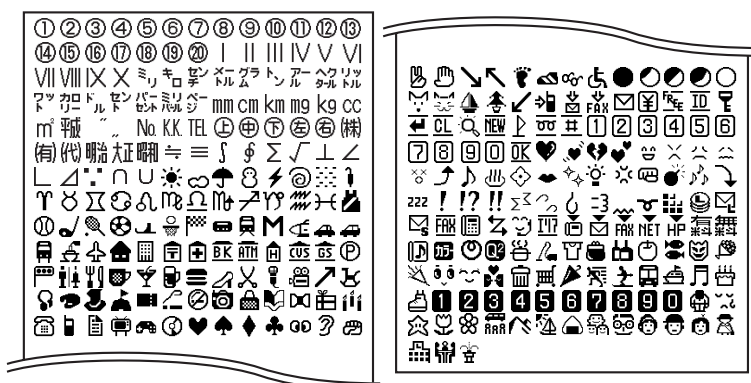
Ｌメールで送信／受信できる文字数は次のとおりです。

| 項　目 | 全角文字（漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字）の場合 | 半角文字（英字、数字、カタカナ）の場合 |
|---|---|---|
| 宛先（メールアドレス） | 25文字 | 50文字 |
| 題　名 | 30文字 | 60文字 |
| 本　文 | 500文字 | 1000文字 |

- 半角カタカナのメールを送信／受信した場合、正しく表示されない場合がありますので、「Ｌモード」利用者どうしでのメールのやりとり以外には半角カタカナを使用しないでください。
- 本文が全角500文字（半角1000文字）を超えるメールを受信した場合、全角500文字目（または半角1000文字目）からは自動的に削除されます。
- 宛先（メールアドレス）には、絵文字は使用できません。
- 文字には全角と半角がありますので、入力するときは間違えないように注意してください。

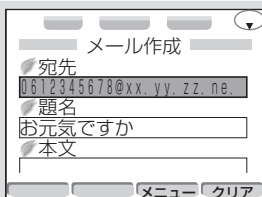
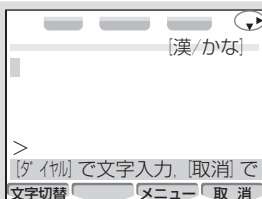
■ **文字入力モードの画面について（例：本文の入力画面）**

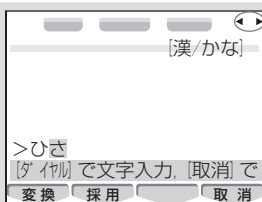
■ **入力モードの切替え**

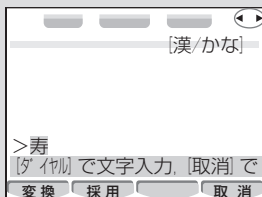
文字切替 を押すごとに、入力モードが切り替わります。

■ **入力できる絵文字**

## 漢字入力モードで文字を入力する

**1 ▲または▼で文字を入力する項目を選ぶ**

●選んだ項目は太線の枠でオレンジ色に表示されます。

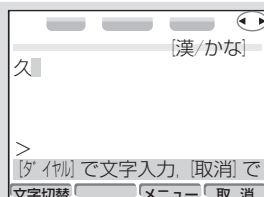
**2 L/決定を押す**

●文字入力モードに切り替わります。

**3 ダイヤルボタンで文字を入力する**
（例）「ひさ」と入力します。

●変換しないときは、L/決定ボタンを押します。

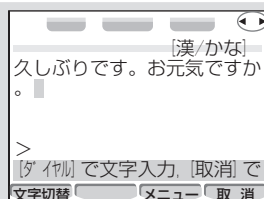
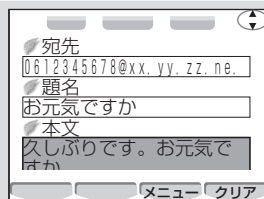
**4 変換を押して漢字に変換する**

●変換した文字が表示されます。

●ボタンを押すたびに切り替わります。
▲または▼で選ぶこともできます。

●反転表示されている文字までが変換されます。
◀または▶で変換したい文字の範囲を調整することができます。

**5 変換したい漢字を選んで、採用を押す**

文字を削除するときは

①▲▼◀▶で削除したい文字にカーソルを合わせる。
②取消ボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

**6 手順3～5を繰り返し行って文章を入力する**

**7 文章の入力が終わったら、L/決定を押す**

●文字入力モードが終了して手順1の画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
停止を押します。（待機画面に戻ります。）

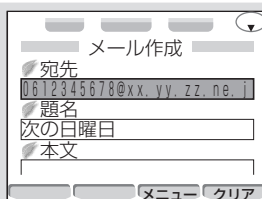
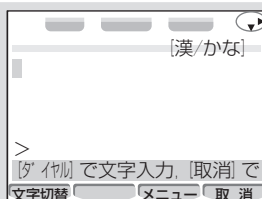
Lモード利用時に文字を入力する

Lモード

## カナ・英字・数字モードで文字を入力する

**1 ▲または▼で文字を入力する項目を選ぶ**

●選んだ項目は太線の枠でオレンジ色に表示されます。

**2 L/決定を押す**

●文字入力モードに切り替わります。

**3 文字切替を数回押して入力モードを選ぶ**

選んだ入力モードが画面右上に表示されます。

●文字の入力モードが半[英]のとき＊を押すとサイト（番組）やメールのアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
＊を押して、文字を選んだあとL/決定ボタンを押します。

＊を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」
「@pipopa.ne.jp」「@dem.odn.ne.jp」
「www.」

**4 ダイヤルボタンで文字を入力する**

●入力した文字は表示エリアに表示されます。次の文字を入力するか、文字切替ボタンを押すと入力した文字が確定します。

文字を削除するときは
①▲▼◀▶で削除したい文字にカーソルを合わせる。
②取消ボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

■ **改行するときは**

▲▼◀▶で改行したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて、ダイヤルボタンで#（改行）を押してください。表示エリアには↵が表示されます。
メールの本文入力時のみ入力できます。ただし、数字入力モードや半角数字入力モードのときは「#」が入力されて改行は入力されません。

■ **定型文を挿入するときは**

文字入力モードが表示されている状態でメニューボタンを押して定型文を挿入する操作をしてください。（☞7-19ページ）

■ **途中でやめるときは**

停止を押します。（待機画面に戻ります。）

■ **文字を挿入するときは**

▲▼◀▶で挿入したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて新しく文字を入力します。

■ **区点モードで文字を入力するときは**

① 手順3で[区点]（区点入力モード）を選ぶ
② ダイヤルボタンで区点コードを入力する
区点コードは、区点コード一覧表（☞10-10～10-21ページ）を参照してください。
③ 入力した区点コードの文字が表示エリアに表示されます。

■ **絵文字モードで文字を入力するときは**

① 手順3で［絵文字］（絵文字入力モード）を選ぶ
② ▲▼◀▶で入力したい絵文字を選ぶ
③ L/決定を押す
選択した文字が表示エリアに表示されます。

### お知らせ

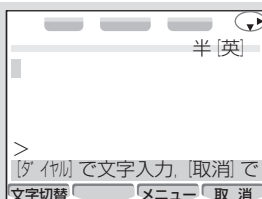
● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

# 電話帳から宛先を検索する

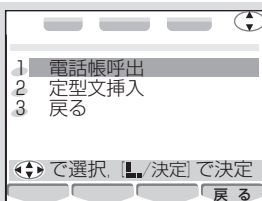
電話帳に登録してあるメールアドレスを検索して宛先
に設定することができます。電話帳の登録方法は、
2-12〜2-14ページを参照してください。

## 電話帳から宛先を検索する

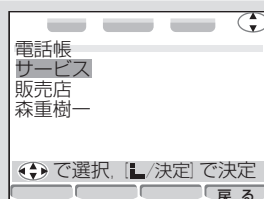
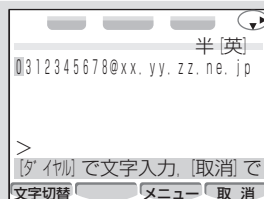
宛先の入力欄が選択された状態で操作します。

**1 [/決定] を押す**

●宛先欄の文字入力モードが表示されます。

**2 [メニュー] を押す**

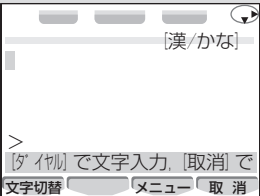
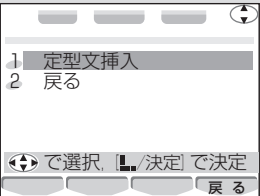
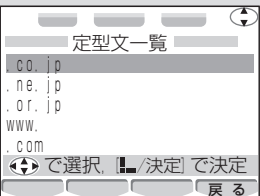
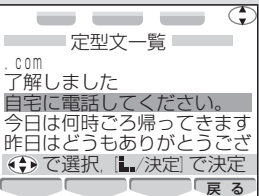
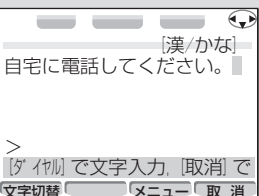
**3 「電話帳呼出」を選ぶ**

**4 [/決定] を押す**

●電話帳検索画面が表示されます。

**5 [▲] または [▼] で送信先を選ぶ**

**6 [/決定] を押す**

●宛先入力画面に変わり、選んだ相手の方の
メールアドレスが表示されます。

**7 [/決定] を押す**

●メール作成画面に変わります。宛先が確定
されます。

■ **途中でやめるときは**

[停止] を押します。（待機画面に戻ります。）

# 定型文を挿入する

メールの「宛先」「題名」「本文」を入力や編集するときに、定型文を挿入することができます。定型文は、あらかじめ10件登録されていて、編集することもできます。

## 定型文を挿入する

**1 文字入力モードに切り替える**
(☞7-15～7-17ページ)

**2 メニュー を押す**

**3 ▲ または ▼ で「定型文挿入」を選び、/決定 を押す**

**4 ▲ または ▼ で挿入したい定型文を選ぶ**

あらかじめ登録されている定型文は
「.co.jp」、「.ne.jp」、「.or.jp」、
「www.」、「.com」、
「了解しました。」、
「自宅に電話してください。」、
「今日は何時ごろ帰ってきますか？」、
「昨日はどうもありがとうございました。」、
「ごめんなさい。待ち合わせに30分ほど遅れます。」

**5 /決定 を押す**

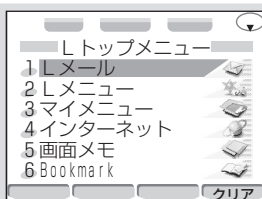
●選択した定型文が表示エリアに表示されます。

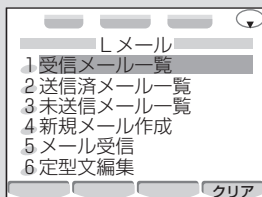
■ **途中でやめるときは**

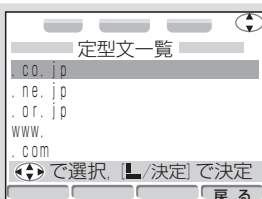
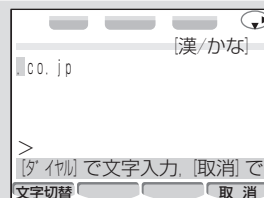
停止 を押します。（待機画面に戻ります。）

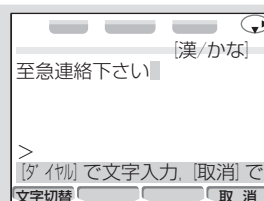
### お知らせ

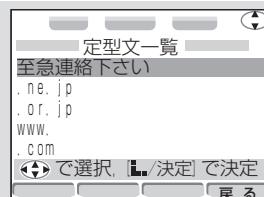
- 挿入した後の定型文を編集することができます。
- 定型文を挿入したときに、入力可能な文字数を超えた場合、入力可能な文字数だけ挿入されます。

## 定型文を編集する

**1 [決定]を押す**

**2 [▲]または[▼]で「Lメール」を選び、[決定]を押す**

●メールメニューが表示されます。

**3 [▲]または[▼]で「定型文編集」を選び、[決定]を押す**

**4 [▲]または[▼]で編集したい定型文を選び、[決定]を押す**

●文字入力モードに切り替わります。

**5 定型文の文字を編集する**
(☞7-15〜7-17ページ)

●編集は、1件あたり全角25文字（半角50文字）の範囲で行えます。

**6 [決定]を押す**

●編集された定型文が登録されます。

■ **途中でやめるときは**

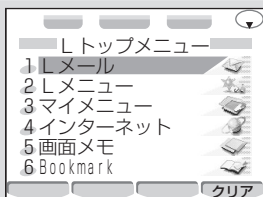
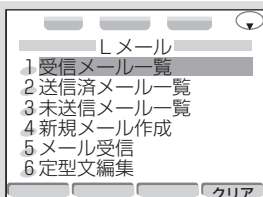
[停止]を押します。（待機画面に戻ります。）

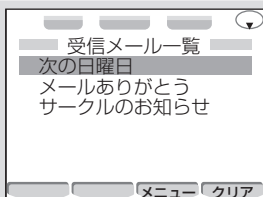
# 保存しているメールを表示する

保存しているメール（送信済メール・未送信メール・受信メール（☞7-25ページ））の内容を表示します。

## 保存しているメールを表示する

**1 （/決定）を押す**

**2 「Lメール」を選び、（/決定）を押す**

●メールメニューが表示されます。

**3 表示したいメール一覧（受信メール一覧・送信済メール一覧・未送信メール一覧）を選び、（/決定）を押す**

●保存されているメールの一覧が表示されます。

●受信メール（☞7-25ページ）の識別マークについて

次の識別マークを表示して、メールの状態を表しています。

✉ ……………まだ読んでいないメール

□（空白）………すでに読んだメール

🔑 …保護（☞7-27ページ）されているメール

**4 （▲）または（▼）で表示したいメールを選ぶ**

**5 （/決定）を押す**

●メールの内容が表示されます。

●送信済メール・未送信メールを編集するときは（☞7-22ページ）

●未送信メールを送信するときは（☞7-23ページ）

●メールを削除するときは（☞7-31ページ）

■ **途中でやめるときは**

停止（◎）を押します。

■ **メールの内容を印刷するには**

手順５から「ページプリントする」操作（☞7-48ページ）を行ってください。

手順５のあとに コピー/印刷 を押しても印刷することができます。

### お知らせ

● メールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは（▲）または（▼）でスクロールさせて表示してください。

● 未送信メール、送信済メール・受信メールの内容を表示しているときは、（▶）で1つ前の、（◀）で次のメールを表示します。

● 題名のないメールを受信すると、受信メール一覧では何も表示されませんが受信メール１件として保存されています。

● 題名を入力せずにメールを保存または送信すると、未送信メール一覧・送信済メール一覧では何も表示されませんが、未送信メール１件または送信済メール１件として保存されています。

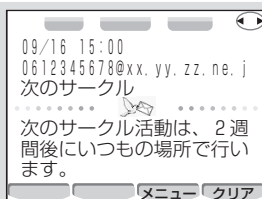
● 未送信メール・送信済メールは合わせて30件まで保存できます。

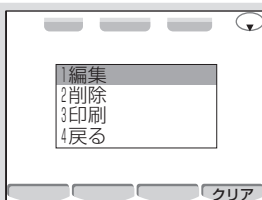
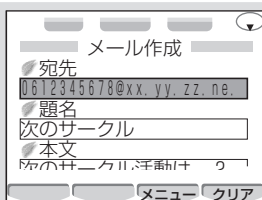
# 送信済メール・未送信メールを編集する

送信済メール・未送信メールの内容を編集することができます。送信済メールは、内容を編集して未送信メールとして保存することができます。未送信メールは、内容を編集して新しい未送信メールとして保存することができます。編集前のメールもそのまま残ります。

## 送信済メール・未送信メールを編集する

（例）送信済メールを編集するとき

**1 編集したいメールの内容を表示する**
（☞7-21ページ）

**2 メニュー を押す**

**3 「編集」を選ぶ**

**4 L/決定 を押す**

●メールの入力画面が表示されます。

**5 内容を修正する**

①▲または▼で修正する項目を選ぶ
②L/決定ボタンを押す
③文字を修正する
（☞7-15〜7-17ページ）
④L/決定ボタンを押す

**6 メニュー を押す**

**7 ▲または▼で「保存」を選ぶ**

●送信するときは、「送信」を選びます。

**8 L/決定 を押す**

●新しい未送信メールとして保存されます。編集前のメールもそのまま残ります。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

### お知らせ

● 手順4で「これ以上、メールが保存できません」と表示されたときは、すでに未送信メールと送信済メールが合わせて30件保存され、新しいメールが保存できない状態にあります。不要な未送信メールまたは送信済メールを削除して（☞7-31ページ）からもう一度操作をやり直してください。
● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

# 未送信メールを送信する

保存してまだ送信していないメールを送信します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **未送信メールを一括して送信するときは**
**（☞7-24ページ）**

**お知らせ**

● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。

# 未送信メールを一括送信する

保存されている未送信メールを一度の操作ですべて送信することができます。（一括送信）

## 未送信メールを一括送信する

**1 「未送信メール一覧」を表示する**
（☞7-21ページ手順1～3）

**2 メニュー を押す**

**3 ▲または▼で「一括送信」を選ぶ**

**4 L/決定 を押す**

- 未送信メールがすべて送信されます。
- 「Lモード」と回線がつながっていなかった場合でも、自動的に回線を接続してメールを送信します。

**5 送信が終わったら「はい」を選ぶ**

- 「いいえ」を選んでL/決定ボタンを押すと回線が切断されずに未送信メール一覧画面に戻ります。

**6 L/決定 を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **メールの送信を途中で止めるときは**

「接続中」の表示が出ている間に L/決定 を押してください。送信が中止されて未送信メール一覧に戻ります。「メール送信中」の表示が出ている間に L/決定 を押すと、メール送信が完了したメールは未送信メール一覧から削除されています。

■ **「Lモード」と通信中は**

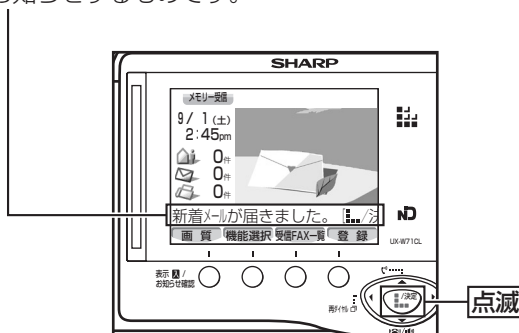
ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

**お知らせ**

- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。

# メールを受信する／表示する

● メッセージ到着お知らせサービス（メッセージ有り通知）を利用すると、「Ｌモード」に新着メールが蓄積されたときに、ディスプレイに「新着メールが届きました。…」と表示され、L/決定ボタンが点滅します。

※この表示は、Ｌモードに新着メールが届いていることをお知らせするものです。

※新着メールが届くと、親機のみメロディでお知らせします。「メール到着通知音」を「あり」にしてください。（はじめは、「あり」に設定されています。）

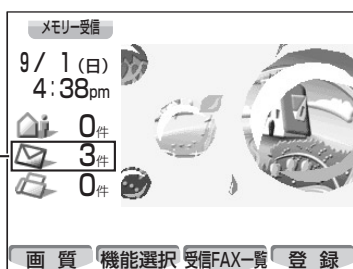
①登録ボタンを押す

②▲または▼で「音関連設定」を選び、Ｌ/決定ボタンを押す

③▲または▼で「メール到着通知音」を選び、Ｌ/決定ボタンを押す

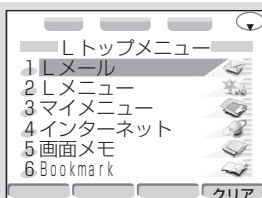
④「あり」を選んでＬ/決定ボタンを押す

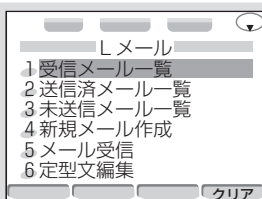
⑤停止ボタンを押す

● 「新着メールが届きました。…」と表示されたら、「メールを受信して表示する」（☞7-26ページ）の操作で内容を見ることができます。親機に受信メールとして保存すると、待機画面に戻ります。

## お知らせ

● メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「使用する」になっていることを確認してください。（☞8-3ページ）
● メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイを契約されていなくても利用することができます。
● 通信中や操作中は、「新着メールが届きました。…」を表示しません。
● 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
● 「新着メールが届きました。…」を表示中に停電し、その後復旧すると「新着メールが届きました。…」の表示はしません。
● 「新着メールが届きました。…」の表示は、メッセージセンターからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
● メール到着通知音の音量は、親機の呼出音量と連動しています。「親機の呼出音量を変える」（☞1-31ページ）の操作で変更できます。また、「親機の呼出音を鳴らさないようにする」（☞1-31ページ）の操作で最小の音量になります。
● メール到着通知音はあらかじめ本体に内蔵されているメロディです。変えることはできません。
● 端末機器自動設定（☞7-5、7-53ページ）が正しく設定されていない場合、メッセージ到着お知らせサービスのメッセージが正常に表示されないことがあります。
● 受信メールの本文は全角で500文字（半角1000文字）まで受信できます。
● 受信メール一覧やメールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは▲または▼でスクロールさせて表示してください。
● 保存できる受信メールは30件までです。30件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外の古いメールから自動的に削除されます。
● メールを受信したとき、未読メールと保護メールの件数が合わせて30件を超えると「これ以上、メールが保存できません。」と表示されます。そのときは、未読メールの内容を確認するか、保護メールを解除して不要なメールを消去してください。
● 「Ｌモード」に受信メールがなかったときは、「受信メールがありません。」と表示されます。
● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

## メールを受信して表示する

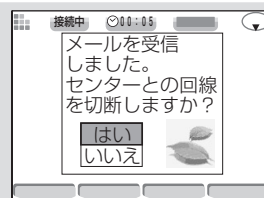
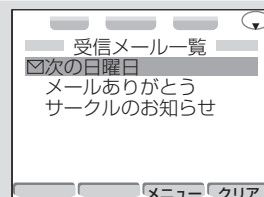
**1 L/決定 を押す**

●Lトップメニューが表示されます。

**2 ▲または▼で「Lメール」を選び、L/決定 を押す**

**3 ▲または▼で「メール受信」を選び、L/決定 を押す**

●「Lモード」に接続し、メールを受信します。

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したときは、受信メール（未読メールと保護メール）が一杯で新しいメールを保存できません。L/決定ボタンを押すと受信メールの一覧が表示されますので、不要なメールを削除してください。
（☞7-31ページ）

●「センターとの接続に失敗しました。」と表示したときは、L/決定ボタンを押すと受信メールの一覧が表示されます。ただし、新しく保存されたメールは表示されません。

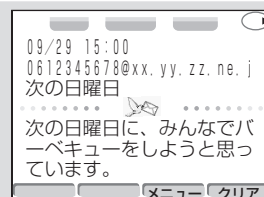
**4 受信完了のメッセージが表示されたら、「はい」を選ぶ**

**5 L/決定 を押す**

●ディスプレイに受信メール一覧が表示され、最新の受信メールが選択されています。

●受信メールの識別マークについて
次の識別マークを表示して、メールの状態を表しています。

✉……………まだ読んでいないメール

（空白）………すでに読んだメール

🔑…保護（☞7-27ページ）されているメール

**6 L/決定 を押す**

●メールの内容が表示されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

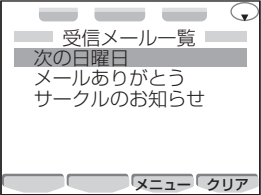
■ **受信メールの内容を印刷するには**

手順6から「ページプリントする」操作（☞7-48ページ）を行ってください。

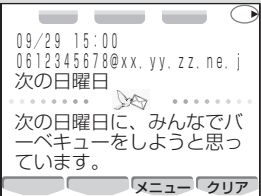
手順6のあとに、コピー/印刷 を押しても印刷することができます。

### お知らせ

● 「Lモード」以外のメールサービスをご利用の方とメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。

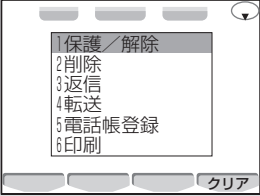
● 「Lモード」の通信中に、回線の通信状況等により、メールの受信ができない場合も、通信料金がかかります。

# 受信メールを保護する

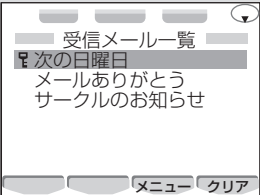
残しておきたい受信メールを保護しておくと、誤って削除することを避けられます。保護を解除することもできます。

## 受信メールを保護する

**1 受信メール一覧を表示する**
(☞7-21ページ手順1～3)

**2 (▲) または (▼) で保護したい受信メールを選ぶ**



**3 (/決定) を押す**



● メールの内容が表示されます。

**4 (メニュー) を押す**

**5 「保護/解除」を選ぶ**



**6 (/決定) を押す**



●選択したメールに保護機能が設定され、受信メール一覧のメール名の先頭に、🔑 が表示されます

✉……………まだ読んでいないメール
（空白）………すでに読んだメール
🔑………………保護されているメール

■ **途中でやめるときは**

(停止) を押します。（待機画面に戻ります。）

■ **メールの保護を解除するときは**

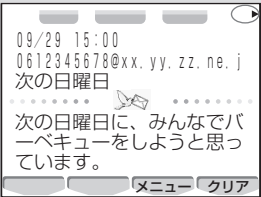
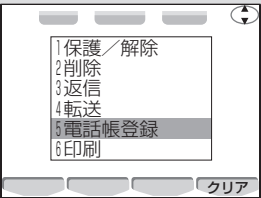
再度手順１～６の操作を行うと保護が解除されます。

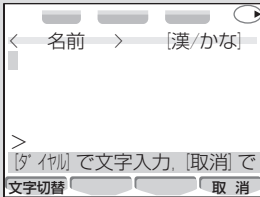
■ **保護されているメールを削除するときは**

① 手順１～４を行う
② (▲) または (▼) で「削除」を選ぶ
③ (/決定) を押す
④ (▲) または (▼) で「はい」を選ぶ
⑤ (/決定) を押す

### お知らせ

● 保護機能が設定できるのは、すでに読んだメールで15件までです。
● 30件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外の古いメールが自動的に削除されます。

# 相手のメールアドレスを電話帳に登録する

受信メールを利用して、発信者のメールアドレスを電話帳に登録します。その場合、新たに電話帳が追加されます。

## 相手のメールアドレスを電話帳に登録する

**1 アドレスを登録したい受信メールを表示する**
（☞7-21ページ）

**2 メニュー を押す**

**3 ▲または▼で「電話帳登録」を選ぶ**

**4 /決定 を押す**

●電話帳登録画面が表示されます。

●「これ以上、登録できません。」と表示されたときは、すでに電話帳に100件登録されていて、新しく登録することができません。L/決定ボタンを押すと受信メール内容表示に戻ります。不要な電話帳を削除（☞2-14ページ）してからもう一度操作をやり直してください。

**5 電話帳に名前、読み、電話番号を登録する**
（☞2-12～2-13ページの手順4～10）

**6 /決定 を押す**

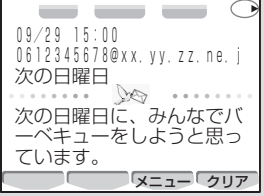
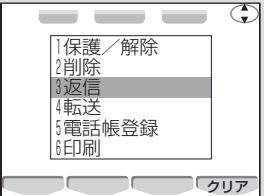
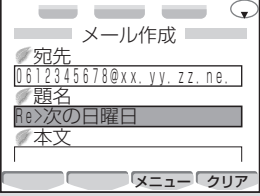
●登録が終わると、受信メールを表示します。

**7 登録が終わったら 停止 を押す**

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

相手のメールアドレスを電話帳に登録する

Lモード

# メールに返事を出す

メールをもらった相手に返事を出すことができます。（返信メール）
相手の方のメールアドレスと題名は、受信したメールを利用して自動的に設定されますので、本文を入力するだけで送信できます。

## メールに返事を出す

**1 受信メールを表示する**
（☞7-21、7-26ページ）

**2 メニュー を押す**

**3 ▲ または ▼ で「返信」を選ぶ**

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（☞7-31ページ）
送信済メールと未送信メールは合わせて30件まで保存できます。

**4 /決定 を押す**

●返信メール入力画面が表示されます。

**5 本文を入力して、送信する**
（☞7-13〜7-14ページ）

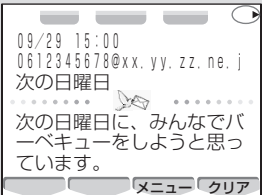
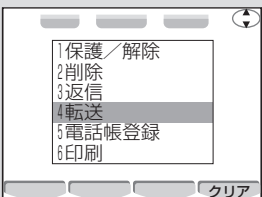
●返信メールの題名には自動的に「Re>」が付加されます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **「Ｌモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

### お知らせ

- 返信メールの宛先や題名を編集することができます。
- 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。
- 絵文字は本文と題名に利用可能です。

# メールを他の宛先に転送する

受信したメールの内容を他の人に知らせたいときに、受信したメールを転送することができます。
転送するとき、受信メールの題名と本文は自動的に入力されていますので、転送したい相手のメールアドレスを入力するだけで送信できます。

## メールを他の宛先に転送する

**1 受信メールを表示する**
（☞7-21、7-26ページ）

09/29 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー クリア

**2 メニュー を押す**

**3 ▲または▼で「転送」を選ぶ**

●「これ以上、メールが保存できません。」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（☞7-31ページ）
送信済メールと未送信メールは、合わせて30件まで保存できます。

**4 決定を押す**

●メール入力画面が表示されます。

**5 宛先を入力して、送信する**
（☞7-13～7-14ページ）

●転送するメールの題名には自動的に「Fw>」が付加されます。

●文字の入力モードが半［英］のとき ＊ を押すとサイト（番組）やメールのアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。

＊ を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」「@dem.odn.ne.jp」「www.」

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

### お知らせ

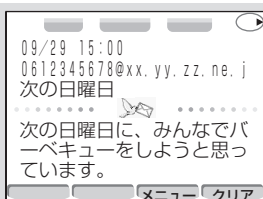
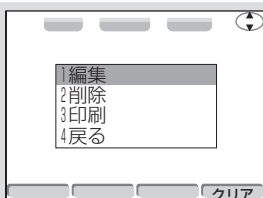
● 転送するメールの題名や本文を編集することができます。
● 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
● メールアドレスに絵文字は使用できません。

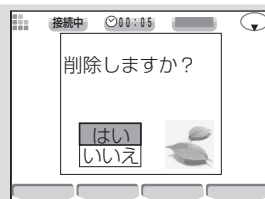
# メールを削除する

受信メール・送信済メール・未送信メールを削除することができます。保護したメールを削除することもできます。

## メールを削除する

（例）送信済メールを削除する場合

**1 削除したいメールの内容を表示する**
（☞7-21ページ）

**2 メニュー を押す**

**3 ▼ で「削除」を選び、決定 を押す**

**4 「はい」を選び、決定 を押す**

●削除をやめるときは、▼ を押して「いいえ」を選んでください。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **受信メール・送信済メール・未送信メールをすべて削除するときは**

① 7-21ページの手順１～３の操作で削除したいメールの一覧（受信メール一覧／送信済メール一覧／未送信メール一覧）を表示する

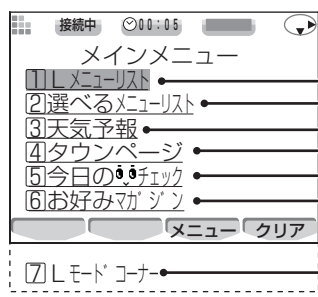
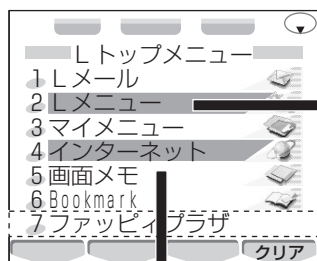
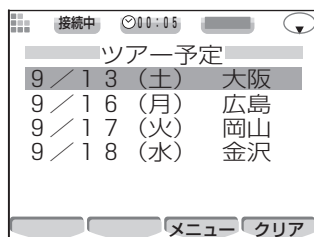
② メニュー を押す

③ 「一括削除」を選んで、決定 を押す

④ 「はい」を選んで、決定 を押す

削除をやめるときは、▼ を押して「いいえ」を選んで、決定 を押してください。
（保護メールがある場合は、「保護メールも削除しますか？」と表示されます。
「はい」を選んで 決定 を押すと保護メールもすべて削除されます。）

# 情報検索サービスについて

**天気予報やタウン情報など生活に役立つ情報を取り出すことができます。**
**また、アドレス（URL）を入力するとインターネット上のホームページなども見ることができます。**

※実際の画面と異なる場合があります。

- 取り出した情報は、そのサイト（番組）を登録したり、ページを保存・印刷することができます。
  **①ページやサイトを登録して素早く表示する**
  **（☞7-36～7-38ページ）**
  **②サイトのページを保存する（☞7-44～7-45ページ）**
  **③表示したページをプリントする（☞7-48ページ）**
- サイト（番組）から着信メロディを取り込む（ダウンロードする）こともできます。
  **着信メロディを取り込む（☞7-35ページ）**

**アドバイス！**

**※「切り忘れ防止タイマー」（☞7-54ページ）**
この機能は、「Lモード」へ接続中に何も操作しなかった時、自動的に「Lモード」の接続を切断する機能です。
「Lモード」の接続を切り忘れて、通信料金がかかるのを防ぎます。
ご購入時は、「3分」に設定されています。

**※通信料金を節約してサイト（番組）のページを見る**
インターネットなどで見たいサイト（番組）のページを表示している時に［キャッチ/消去 L回線断］を押すと、表示しているページは、そのままで「Lモード」の接続を切断することができます。
通信料金を節約してページを見るときに便利です。

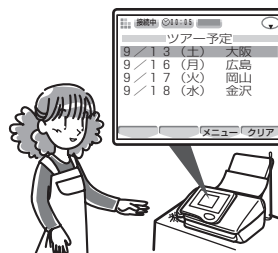
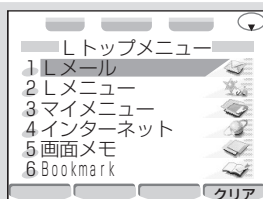
**お知らせ**

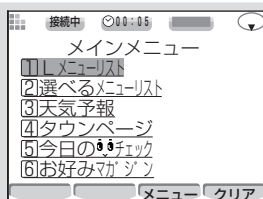
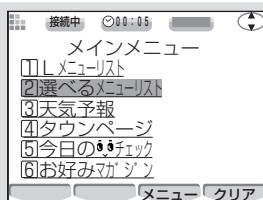
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。

# サイト（番組）を表示する

サイト（番組）をご覧になるときは、まず目次にあたる「Ｌメニュー」を表示させせます。「Ｌメニュー」からお好きな項目を選択していき、サイト（番組）を表示します。

## サイト（番組）を表示する

**1** [/決定] **を押す**

- Ｌトップメニューが表示されます。
- 親機の電源がOFFになったり、停電になった時は、再度アクセスポイント電話番号（センター番号）の設定をしてください。（☞7-5ページ）

**2** [▲]**または**[▼]**で「Ｌメニュー」を選び、**[/決定]**を押す**

**3** [▲]**または**[▼]**でお好きな項目を選ぶ**

※実際の画面とは異なることがあります

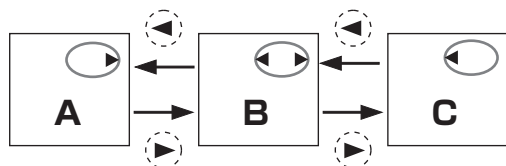
**4** [/決定] **を押す**

**5** **見たいサイトが表示されるまで手順3～4の操作を繰り返す**

- L回線断ボタンを押すと、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。通信料金を節約してページ内容を見たいときなどに操作してください。

■ **1つ前の画面に戻るときは**

◀ が表示されているときは ◀ を押してください。

（例）ページをA→B→Cと表示してきた場合

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

■ **「Lモード」を終了するときは**

停止 を押します。

■ **画像データを表示させたくないときは**

画像表示設定で画像データを表示させないようにすることができます。（☞7-53ページ）

■ **表示したページをプリントするには**
**（☞7-48ページ）**



## お知らせ

- L/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30〜60秒程度かかります。
- 回線の状態によっては、まれに「Lモード」に接続できない場合があります（「センターとの接続に失敗しました。」が表示されます）。
- 回線の状態によっては、サイトが表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。
- 回線の状態によっては、まれに「Lモード」との接続が切断されることがあります。
  また、「Lモード」に接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。
  （「センターとの接続が切断されました。」と画面表示され、表示していたブラウザマークが消えます。）
  この場合は、L/決定ボタンを押して「センターとの接続が切断されました。」の画面表示を消し、もう一度L/決定ボタンを押して「Lモード」への接続の操作を始めてください。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 通信を中断した場合、あるいはホームページが正しく表示されなかった場合でも、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。
- 「Lモード」と接続が失敗した場合でも通信料金がかかります。
- GIF、JPEG形式以外の画像データを表示することはできません。その場合、画像の位置に ☒ を表示します。GIF、JPEG形式の画像データであっても表示できない場合があります。

# 着信メロディを取り込む（着メロダウンロード）

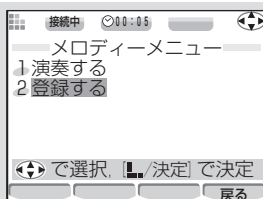
サイト（番組）等から、最新の曲やお好みの曲を取り込んで（ダウンロードして）着信音として利用することができます。3曲までダウンロードできます。

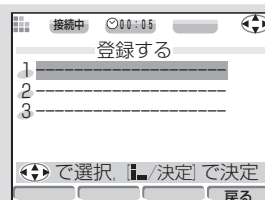
## サイト（番組）等から着信メロディを取り込む

**1 着信メロディが掲載されているサイトを表示する**
（☞7-33ページ）

**2 着信メロディをダウンロードする**

●着信メロディのダウンロード方法は各サイトで異なります。

**3 ▲または▼で「登録する」を選ぶ**

**4 [/決定]を押す**

**5 ▲または▼で保存する場所を選ぶ**

●1〜3に保存することができます。1〜3は「親機呼出音切替」の7〜9になります。（☞1-33ページ）
すでに着信メロディが保存されているときは、タイトルが表示されています。

**6 [/決定]を押す**

●すでに保存されている着信メロディを選んだときは、上書き保存確認画面が表示されます。

■ **「Ｌモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

■ **ダウンロードした着信メロディを呼出音に設定するには**
**（☞1-33ページ）**

**お知らせ**

● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
● 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。

# ページやサイトを登録して素早く表示する

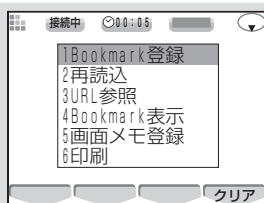
ページやサイトのアドレス（URL）を、短いタイトルをつけて登録しておくことができます。（Bookmark）
よく見るページを登録しておくと、Bookmarkを選択するだけで簡単にそのページを表示できます。

## サイトをBookmarkに登録する

**1 ページを表示中に メニュー を押す**

**2 「Bookmark登録」を選ぶ**

**3 [/決定] を押す**

●表示されていたページがBookmarkに登録されます。

■ **登録されているBookmarkを確認するときは**

① 待機画面を表示中に [/決定] を押す
② [▲] または [▼] で「Bookmark」を選ぶ
③ [/決定] を押す
登録したBookmark一覧が表示されます。

■ **登録されているBookmarkを削除するときは**

① Bookmarkを確認する操作をする
② [▲] または [▼] で削除したいBookmarkを選ぶ
③ メニュー を押す
④ [▲] または [▼] で「削除」を選ぶ
⑤ [/決定] を押す
Bookmarkが削除されます。

■ **「これ以上、登録できません。」と表示されたときは**

すでに10件登録されています。新しく登録するときは不要なBookmarkを削除してください。

■ **Bookmarkと画面メモ（☞7-44ページ）の違い**

Bookmarkからページを表示するときは、「Lモード」を介して最新の内容を受信し、表示します。画面メモを表示するときは、通信は行われずに保存時の内容がそのまま表示されます。内容の更新が多いページは、Bookmarkに登録すると常に最新の状態を表示できます。

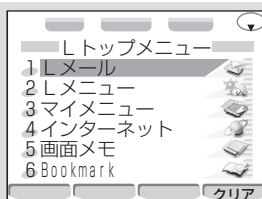
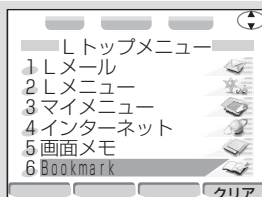
### お知らせ

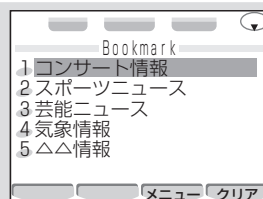
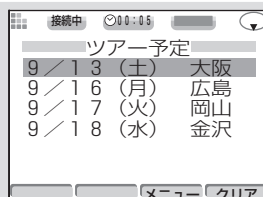
- Bookmarkは最大10件まで登録することができます。
- Bookmarkのタイトルは、全角11文字（半角22文字）まで登録できます。全角11文字を超えるタイトルの場合、12文字目からは登録されません。
- 登録したBookmarkは停電があっても保存されています。

## Bookmarkからサイトを表示する

**1 決定 を押す**

**2 ▲ または ▼ で「Bookmark」を選ぶ**

**3 決定 を押す**

●Bookmark一覧画面が表示されます。
●Bookmarkのタイトルを編集するには（☞7-38ページ）

**4 ▲ または ▼ で表示したいBookmarkを選ぶ**

**5 決定 を押す**

●「Lモード」に接続して、Bookmark登録されているページが表示されます。

### ■ ページ表示中にBookmarkからサイトを表示するには

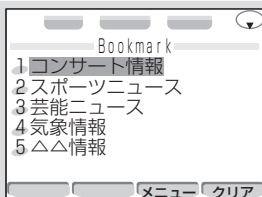
① ページを表示中に メニュー を押す
② ▲ または ▼ で「Bookmark表示」を選ぶ
③ 決定 を押す
Bookmark一覧画面が表示されます。
④ ▲ または ▼ で表示したいBookmarkを選んで、決定 を押す
Bookmark登録されているページが表示されます。

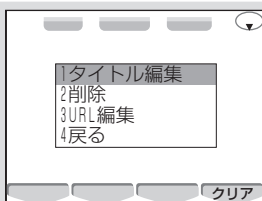
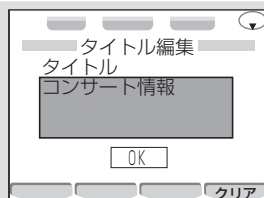
**お知らせ**

● Bookmark一覧画面で、タイトルの前の番号をダイヤルボタンで入力してサイトを表示させることができます。

## Bookmarkのタイトルを編集する

**1 「Bookmarkからサイトを表示する」操作の手順1～3を行う**（☞7-37ページ）

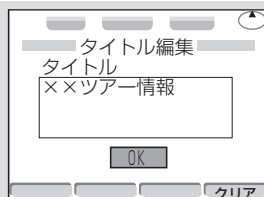
**2 ▲または▼で編集したいBookmarkを選ぶ**

**3 メニュー を押す**

**4 「タイトル編集」を選ぶ**

**5 決定 を押す**

- タイトル編集画面が表示されます。
- タイトル名が表示されない場合があります。

**6 決定 を押す**

- 文字入力モードに切り替わります。

**7 新しいタイトルを入れ**（☞7-15～7-17ページ）**、決定 を押す**

**8 ▼で「OK」を選ぶ**

**9 決定 を押す**

- Bookmarkの画面にもどります。

### ■ BookmarkのURL（アドレス）を編集するには

登録されているBookmarkのURL（アドレス）を編集することができます。文字数は最大で、全角250文字（半角500文字）までです。

① 「Bookmarkのタイトルを編集する」操作の手順3までを行う

② ▲または▼で「URL編集」を選んで、決定を押す

③ URLのテキストボックスが選択されている状態で 決定 を押す
URL編集画面が表示されます。

④ URLを編集する
文字の訂正や入力は7-15～7-17ページを参照してください。

⑤ 決定 を押す

⑥ ▼を押して「OK」を選択する

⑦ 決定 を押す

### お知らせ

- Bookmarkのタイトルを編集した場合、登録できるのは全角8文字（半角16文字）までです。
- Bookmarkのタイトルを編集しても登録されている順序は変更されません。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量が多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF、JPEG形式以外の画像は表示できません。

# マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。
マイメニューは「Ｌモード」に登録されます。
マイメニューの登録については「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。

## マイメニューに登録する

**1 登録するサイトを表示する**
（☞7-33～7-34ページ）

**2 ▲または▼で「マイメニュー登録」を選ぶ**

●サイトによりページ構成が異なります。該当する項目（契約や登録など）を選んでください。

**3 ［/決定］を押す**

●マイメニューにサイトが登録されます。

■ **Bookmark（☞7-36～7-38ページ）とマイメニューの違い**

Bookmarkとマイメニューは、URLのデータを登録する場所が異なります。
Bookmarkのデータは、親機に登録されるのに対し、マイメニューは、「Ｌモード」のサーバーに登録されます。

親機の
メモリー

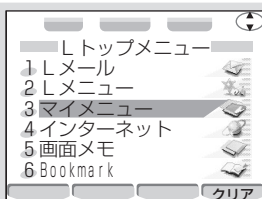
Ｌモードの
サーバー

## マイメニューからサイトを表示する

**1 [決定] を押す**

**2 ▲ または ▼ で「マイメニュー」を選ぶ**

**3 [決定] を押す**

●登録されているマイメニューが一覧表示されます。

**4 ▲ または ▼ で表示したいマイメニューを選んで [決定] を押す**

●登録されているサイトが表示されます。

■ **マイメニューの登録を解除するときは**

登録したサイトを表示し、「マイメニュー解除」（解約や削除など、サイトにより異なります）を選びます。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

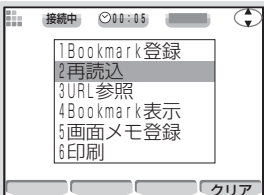
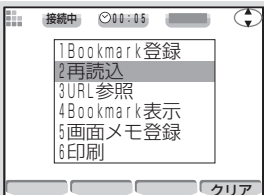
[キャッチ/消去 Ｌ回線断] を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、[キャッチ/消去 Ｌ回線断] を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

**お知らせ**

● 有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
● マイメニュー登録できないサイトもあります。
● フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなど含んだページは正しく表示できない場合があります。
● 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
● GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

# ページを再読み込みする

表示中のページの内容を受信し直します。画像が正常に表示できなかったときや、ページの内容を最新のものに更新するときなどに行います。

■ **「Lモード」を終了させるときは**

停止 を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

キャッチ/消去 L回線断 を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

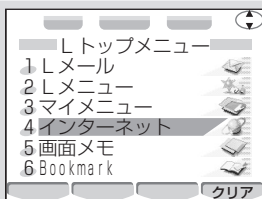
**お知らせ**

- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなど含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

# URLを入力してページを表示する

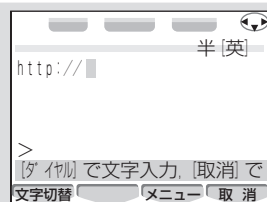
ページには「URL」と呼ぶアドレスが付いています。これを入力して、個人、団体、企業などが開設しているさまざまなページを表示できます。

## URLを入力してページを表示する

**1 （/決定）を押し、（▲）または（▼）で「インターネット」を選ぶ**

**2 （/決定）を押す**

●URL のテキストボックスが太線の枠でオレンジ色に表示されていないときは、（▲）または（▼）でURLのテキストボックスを選んでください。

●2回目からは、前回入力したURLが表示されます。別のページを表示するには以下の手順で修正（変更）してください。

**3 URLのテキストボックスが選ばれていることを確認して（/決定）を押す**

●2回目からは、前回入力したURLが表示されます。

**4 URL（アドレス）を入力する**

●文字の入力方法は、7-15～7-17ページを参照してください。

●入力するときは、大文字と小文字、全角と半角に注意してください。

●変更するときは、取消ボタンを押して不要な文字を消してから、入力しなおしてください。

**5 （/決定）を押す**

**6 （▼）を押して「OK」を選ぶ**

**7 （/決定）を押す**

URLを入力してページを表示する

Lモード

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **URL（アドレス）に使用できる文字と文字数は**

URLに使用できる文字は、漢字、全角かな、全角カナ、全角英字、全角数字、半角カナ、半角英字、半角記号、半角数字、区点です。文字数は最大全角250文字（半角500文字）までです。

■ **表示しているページのURLを確認するには**

① ページを表示中に メニュー を押す
② ▲ または ▼ で「URL参照」を選ぶ
③ L/決定 を押す

■ **「Lモード」を終了させるときは**

停止 を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

キャッチ/消去 L回線断 を押します。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

**お知らせ**

- 指定できるURLは１回に１つです。
- URLを入力したあと回線接続中に操作を中止するときは、「接続中」または「ページ取得中」と画面表示されている間にL/決定ボタンを押してください。
- 手順３では「http://」が自動的に入力されています。
- 入力するURLの先頭には必ず「http://」または「https://」を付けてください。「http://」または「https://」がないとページに接続できません。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

# サイトのページを保存する（画面メモ）

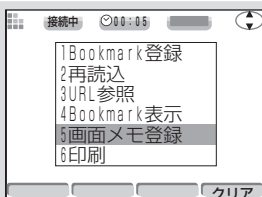
表示中のサイトのページを「画面メモ」として保存することができます。保存した画面メモは「Lモード」と通信せずにいつでも表示できますので、たとえば、料理のレシピや乗換案内など、一度表示した画面をあとから利用したいときに便利です。

## 画面メモを保存する

**1 ページを表示中に メニュー を押す**

**2 ▲ または ▼ で「画面メモ登録」を選ぶ**

**3 /決定 を押す**

●すでに画面メモが3件登録されているときは、「画面メモがいっぱいです。」と表示され新しく画面メモを保存できません。

## 画面メモを表示する

**1 待機画面を表示中に /決定 を押し、▲ または ▼ で「画面メモ」を選ぶ**

**2 /決定 を押す**

●保存されている画面メモが表示されます。画面メモが保存されていないときは、「画面メモの登録がありません。」と表示されます。

**3 画面メモを見る**

●他に登録されている画面メモがあるときは、▶が表示されます。▶ を押すと次の画面メモを表示します。◀ を押すと1つ前の画面メモを表示します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

サイトのページを保存する（画面メモ）

Lモード

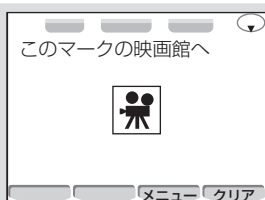
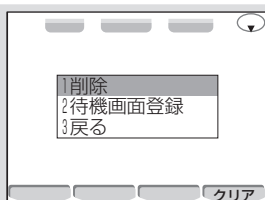
## 画面メモを削除する

**1 削除したい画面メモを表示する**
（☞7-44ページ）

**2 メニュー を押す**

**3 「削除」を選ぶ**

**4 /決定 を押す**

●画面メモを削除すると、次の画面メモが表示されます。
残り１件の画面メモを削除したときは「画面メモの登録がありません。」と表示されます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

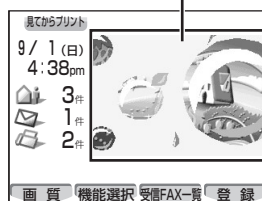
■ **画面メモに保存している画像を待機画面として使用するときは（☞7-46〜7-47ページ）**

### お知らせ

● 画面メモは3件まで保存できます。ただしページの情報量によっては保存できる件数が少なくなることがあります。
● リンク先のあるページも画面メモに保存することができます。画面メモからリンク先を選択すると、「Ｌモード」に接続され、リンク先のページが表示されます。
● 画像表示設定（☞7-53ページ）を「表示しない」に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。（その後画像読込み設定を「表示する」にしてから画面メモを表示させても、画像は表示されません。）
● 画面メモ内からも、PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えます。（☞7-51〜7-52ページ）

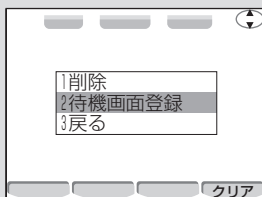
# 画面メモを待機画面に登録する

画面メモ（☞7-44～7-45ページ）に保存している画像を待機画面として使用することができます。

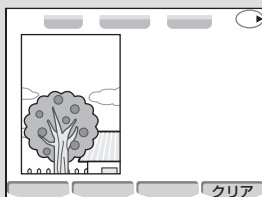
待機画面

## 画面メモに保存している画像を待機画面に登録する

**1 待機画面に表示したい画面メモを表示する**
（☞7-44ページ）

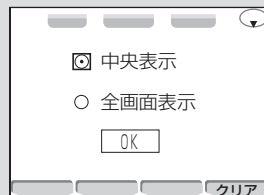
**2 メニュー を押す**

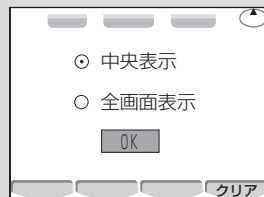
**3 ▲または▼で「待機画面登録」を選ぶ**

**4 /決定 を押す**

●画像データが表示されます。

**5 登録したい画像を表示する**

●画面表示されていない画像を選択するときは◀または▶を押して表示させてください。

**6 /決定 を押す**

**7 画面の表示形式を選ぶ（下記）**

●▲または▼で「中央表示」、「全画面表示」から選択し、L/決定ボタンを押してください。

**8 「OK」を選んで、/決定 を押す**

**9 待機画面の設定を「ダウンロード画像」にしてください**
（☞6-2ページ）

●「内蔵アニメーション」「からくり時計」「カレンダー」に設定されていると、画面メモに保存しておいた画像が表示されません。

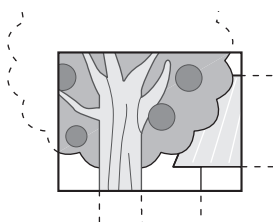
■ **途中でやめるときは**

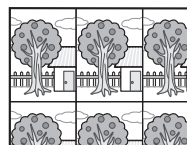
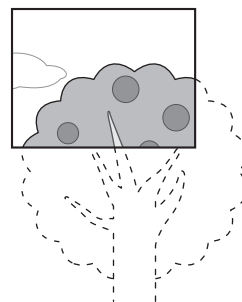
停止 を押します。

■ **待機画面の表示のされかた**

● 中央表示

画像サイズが待機画面より小さいとき

画像サイズが待機画面より大きいとき

● 全画面表示

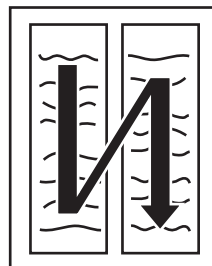
画像サイズが待機画面より小さいとき

画像サイズが待機画面より大きいとき

**お知らせ**

● 選択した画像が1画面を超える場合は、表示不可能な部分が削除されます。

● 手順8でL/決定ボタンを押したあとに、着信があったり受話器を上げたりした場合、待機画面に登録できない場合があります。また、すでに保存されていた画像が消えてしまうことがあります。

# 表示したページをプリントする

メールの内容や、サイトのページを記録紙に印刷することができます。（ページプリント）

● 長いページ（コンテンツ）をプリントするときは、左右に並べてプリントするため経済的です。（メールは左右に並べてプリントできません。）

## ページプリントする

**1 印刷したいメールの内容やページを表示する**

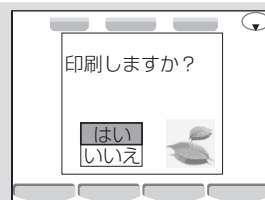
● L 回線断ボタンを押すと、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。続けて手順 2 から操作してください。

●印刷したいページを表示させたあと、コピー/印刷ボタンを押しても印刷することができます。

**2 メニュー を押し、▲または▼で「印刷」を選ぶ**

**3 /決定 を押す**

●印刷確認画面が表示されます。

**4 ▲または▼で「はい」を選ぶ**

●印刷をしないときは、「いいえ」を選びます。

**5 /決定 を押す**

●印刷が始まります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

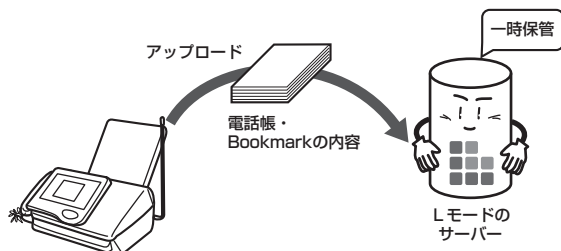
■ **記録紙がつまったときは（☞9-7ページ）**

### お知らせ

● ページを記録紙に印刷するときは、あらかじめ親機に記録紙をセットしておいてください。

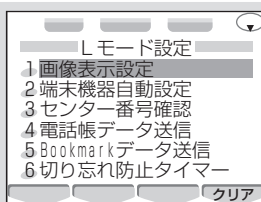
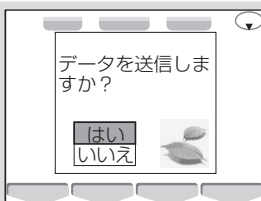
● プリント中は、子機の使用はできません。

# 電話帳やBookmarkデータをアップロード（送信）する

親機に登録されている電話帳やBookmarkの内容をＬモードのサーバーに送信して一時保管することができます。（データアップロード）「Ｌモード」用端末の買い換えや修理のときに便利です。買い換えや修理後に一時保管したデータをダウンロード（☞7-50ページ）すると引き続き電話帳やBookmarkの登録内容をご利用になれます。

## 電話帳やBookmarkデータをアップロードする

（例）電話帳データをアップロードする場合

**1 待機画面から 登録 を押す**

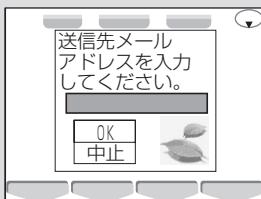
**2 ▲または▼で「Ｌモード設定」を選び、/決定を押す**

**3 ▲または▼で「電話帳データ送信」を選び、/決定を押す**

- Bookmarkデータをアップロードするときは▲または▼で「Bookmarkデータ送信」を選択してください。
- 「データがありません。」と表示されたときは、アップロードしようとした電話帳またはBookmarkデータが登録されていません。

**4 「はい」を選び、/決定を押す**

**■ 途中でやめるときは**

停止 を押します。

**■ 「Ｌモード」と通信中は**

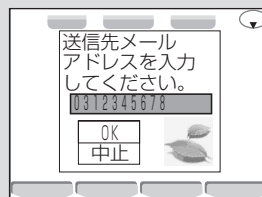
ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

**5 送信先メールアドレス（お客様の「Ｌモード」のメールアドレス）を入力する**

①アドレス入力エリアが選択されていることを確認する

②Ｌ/決定ボタンを押す

③お客様の「Ｌモード」のメールアドレスを入力する（メールアドレスは“@”より前の部分のみ入力してください。）

- 送信先メールアドレス（お客様の「Ｌモード」のアドレス）は、間違わないように入力してください。

**6 入力が終わったら/決定を押す**

**7 ▲または▼で「OK」を選び、/決定を押す**

**8 「Ｌモード」に接続され、データがアップロードされる**

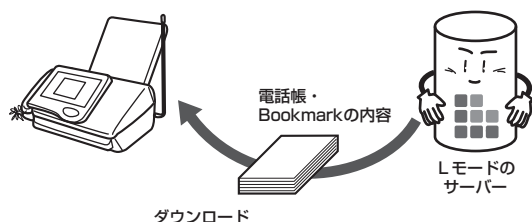
**9 /決定を押す**

待機画面に戻ります。

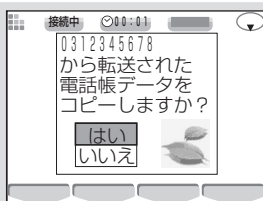
**お知らせ**

- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

# 電話帳やBookmarkデータをダウンロード（受信）する

「Ｌモード」に保存している電話帳やBookmarkデータを、メールを受信する操作を行って親機にダウンロードします。

## 電話帳やBookmarkデータをダウンロードする

（例）電話帳データをダウンロードする場合

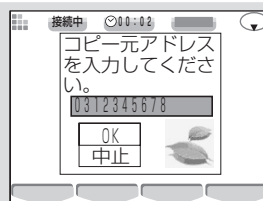
**1 メールを受信する操作を行う**（☞7-26ページ）

**2 「はい」を選んで、L/決定 を押す**

●「いいえ」を選んでＬ/決定ボタンを押すと、「削除しますか？」と表示されて受信したデータを削除することができます。

**3 コピー元のアドレス（お客様の「Ｌモード」のメールアドレス）を入力する**

①アドレス入力エリアが選択されていることを確認する
②Ｌ/決定ボタンを押す
③お客様の「Ｌモード」のメールアドレスを入力する

●アドレスは“@”より前の部分のみ入力してください。

**4 入力が終わったら L/決定 を押す**

**5 ▲ または ▼ で「OK」を選び、L/決定 を押す**

●自動的にデータをダウンロードします。ダウンロードは、１回のみです。ダウンロードをした後Ｌモードのサーバーに保存していたデータは自動的に削除されます。

**6 受信完了のメッセージが表示されたら、▲ または ▼ で「はい」を選ぶ**

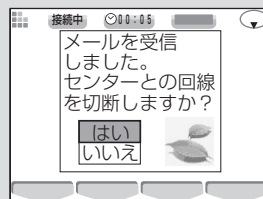
**7 L/決定 を押す**

●受信メール一覧画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

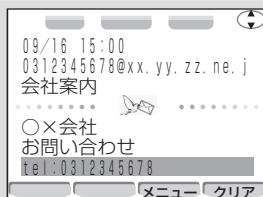
ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

### お知らせ

● 登録されている電話帳やBookmarkがあった場合、ダウンロードしたデータは追加されます。ただし、電話帳やBookmarkが一杯でダウンロードしたデータが追加できない場合、ダウンロードしたデータは追加されずに、削除されます。
● 受信した電話帳やBookmarkデータは受信メールに保存されません。
● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

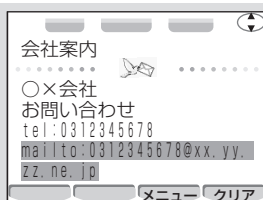
# PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能を使う

◆ PHONE TO： メールやサイト、画面メモ内にある、電話番号に簡単に電話をかけることができます。
◆ MAIL TO： メールアドレスにメールを送ることができます。
◆ FAX TO： FAX番号に接続しファクスを受信することができます。
◆ WEB TO： URL（アドレス）に接続しページを表示することができます。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えるのは、カーソルを移動したときにオレンジ色に反転する電話（ファクス）番号やURL（アドレス）のみです。

## PHONE TO機能を使う

**受信メールやサイト内にある電話番号（オレンジ色に反転しているもの）に電話がかけられます。**

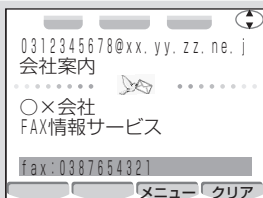
● **▲または▼で電話番号を選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。**
● **電話番号を確認してから操作してください。**自動的に電話番号にダイヤルします。
● 相手の方が出たら受話器を取ってお話しします。（自動的にスピーカーホン通話になっていますのでそのまま、お話しすることもできます。
● 通話が終わったら受話器を戻します。（待機画面が表示されます。）

## MAIL TO機能を使う

**受信メールやサイト内にあるメールアドレス（オレンジ色に反転しているもの）あてのメールを作成できます。**

● **▲または▼でメールアドレスを選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。**
● 「これ以上、メールが保存できません」と表示されたときは、未送信メールと送信済メールが合わせて30件保存されていて、新しくメールを作成することができません。L/決定ボタンを押したあと不要な未送信メールまたは送信済メールを削除（☞7-31ページ）してからもう一度操作をやり直してください。
● メール作成画面が表示されたときは、メールアドレスがすでに入力された状態になっています。
● メールアドレス（宛先）を確認してから送信してください。
（メールを作って送信する ☞7-13〜7-14ページ）

### お知らせ

● サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合PHONE TO・MAIL TO機能は使えません。
● 発信後の通話には通話料金がかかります。
● PHONE TO 機能による発信とメッセージ到着通知等の着信が同時に行われた場合、正しく動作しないことがあります。

## FAX TO機能を使う

**受信メールやサイト内にあるファクス番号（オレンジ色に反転しているもの）に接続し、ファクスを受信できます。**

- **▲または▼でファクス番号を選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。**
- **ファクス番号を確認してから操作してください。**自動的にファクス番号にダイヤルします。
- ファクス受信時は原稿をセットしていない状態で操作してください。
- ファクス受信確認画面（[FAXスタート]を押します。）が表示されます。相手先につながってから FAXスタート を押すと、ファクスを受信します。受信が終わると待機画面が表示されます。

## WEB TO機能を使う

**受信メールやサイト内にあるURL（アドレス）を、▲または▼で選び、L/決定を押すと、ページが表示されます。**

### ■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

### ■1つ前の画面に戻るときは（☞7-34ページ）

◀ が表示されているときに、◀ を押してください。ただし、受信メールを表示しているときに ◀ を押した場合は、1つ前に受信したメールが表示されます。

### ■ 「Lモード」を終了させるときは

停止 を押します。

### ■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

キャッチ/消去 L回線断 を押します。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

### ■ 「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示されている間は、電話やファクスは使えません。

### ■ 表示したページを記録紙にプリントするには（☞7-48ページ）

### お知らせ

- サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合、FAX TO・WEB TO機能は使えません。
- 発信後のファクス受信には通信料金がかかります。
- FAX TO 機能による発信とメッセージ到着通知等の着信が同時に行われた場合、正しく動作しないことがあります。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。

## 親機で設定します

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの(▲)または(▼)で選びます。

（例）

### 画像表示設定

工場出荷時は に設定されています。

### 端末機器自動設定

### センター番号確認

**■ 途中でやめるときは**

停止 を押します。

**■ 前に戻るときは**

クリア を押します。

## 親機で設定します

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの▲または▼で選びます。

（例）

### 電話帳データ送信

工場出荷時は　　　　に設定されています。

| | |
|---|---|
| はたらき | 親機に登録した電話帳の内容をＬモードのサーバーに送信して一時保管することができます。 |
| 手順 | 登録 ➡「Ｌモード設定」を選ぶ ➡ /決定 ➡「電話帳データ送信」を選ぶ ➡ /決定 ➡ 送信先メールアドレスを入力して、電話帳データを送信します。<br>操作方法は7-49ページをご覧ください。 |

### Bookmarkデータ送信

| | |
|---|---|
| はたらき | 親機に登録したBookmarkのデータをＬモードのサーバーに送信して一時保管することができます。 |
| 手順 | 登録 ➡「Ｌモード設定」を選ぶ ➡ /決定 ➡「Bookmarkデータ送信」を選ぶ ➡ /決定 ➡ 送信先メールアドレスを入力して、Bookmarkデータを送信します。<br>操作方法は7-49ページをご覧ください。 |

### 切り忘れ防止タイマー

| | |
|---|---|
| はたらき | 回線が接続されたまま、最後に「Ｌモード」にアクセスしてから設定した時間がたつと自動的に回線を切断します。<br>01分～10分または無監視に設定できます。無監視に設定した場合、「Ｌモード」とデータのやりとりが30分以上ない場合は回線が切断されますのでご注意下さい。 |
| 手順 | 登録 ➡「Ｌモード設定」を選ぶ ➡ /決定 ➡「切り忘れ防止タイマー」を選ぶ ➡ /決定 ➡ /決定 ➡ プルダウンメニューで選択 01分～10分 無監視 （3分）（初期値） ➡ /決定 ➡ OK を選ぶ ➡ /決定<br>操作中やプリント中のときでも、最後に「Ｌモード」にアクセスしてから、設定時間がたつと自動的に回線を切断します。 |

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **前に戻るときは**

クリア を押します。